

会報

第 69 号

2019.10

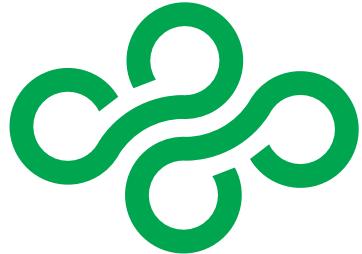


一般社団法人
静岡県危険物安全協会連合会

県危連「シンボルマーク」

1977年に県危連のシンボルマークを一般公募した結果、鈴木範夫氏の作品が選ばれた。

このマークは、危険物の「危」を図案化したもので、緑色は安全を意味している。



表紙写真の説明

日本平夢テラス

日本平夢テラスは、静岡市の有度山の山頂、「日本平」に昨年秋にオープンしました。日本平からの快適な眺望と、歴史的・文化的な価値に係る情報を提供する施設です。設計は、新国立競技場を設計した隈研吾建築都市設計事務所。

1階：名勝「日本平」の歴史を、神話・伝説の時代から紹介する展示エリア

2階：季節のお茶や茶菓子、景色を楽しみながらくつろげるラウンジ

3階：全方位の眺望を楽しむことができる展望フロア

庭：四季折々の花が咲き、施設の魅力を引き立たせる庭園

展望回廊：富士山、三保松原、駿河湾、静岡市内など360度の眺望を楽しめる展望デッキ

【所在地】〒424-0886 静岡市清水区草薙600-1

(ホームページ <https://nihondaira-yume-terrace.jp/>)

【電話】054-340-1172

【開館時間】日～金曜日 午前9時～午後5時、土曜日 午前9時～午後9時

【休館日】毎月第2火曜日、12/26～12/31

【入館料】無料

【アクセス】車；東名高速道路「静岡IC」、「清水IC」から約30分。「日本平久能山スマートIC」

から約20分。新東名高速道路「新静岡IC」から約35分

バス；静岡駅北口から約40分。東静岡駅南口から約25分

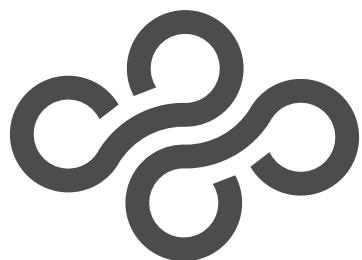
タクシー；静岡駅から約25分、東静岡駅から約10分、清水駅から約20分

写真・情報提供 静岡県観光政策課、日本平夢テラス

会報

第 69 号

2019.10



一般社団法人
静岡県危険物安全協会連合会

● ● ● 目 次 ● ● ●

◇ 会長あいさつ （一社）静岡県危険物安全協会連合会会長 中島 博康	1
◇ 会報の発行に寄せて 静岡県危機管理部消防保安課長 細沢 光晴	2
◇ 令和元年度危険物安全大会 ・消防庁長官表彰受賞者の紹介	3
・（一財）全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状受賞者の紹介	5
◇ 令和元年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会 ・静岡県知事表彰・褒賞受賞者の紹介	11
・記念講演	15
◇ 【ちょっとひといき・コラム】 「備えあれば憂いなし」 裾野市防火協会会長 堀田 正昭（広報委員会 委員）	20
◇ 県からのお知らせ ・地元の消防団を応援してください！	21
◇ 国の動き ・平成30年危険物関係法令の改正概要と主な通知	23
◇ 県内の危険物等に係る事故状況（平成30年）	26
◇ 【ちょっとひといき・コラム】 「野球と私」 磐田市危険物安全協会副会長 鈴木 芳明（広報委員会 委員）	29
◇ 危険物安全協会連絡会だより 「絆」 東部地区危険物安全協会連絡会	31
◇ 危険物安全協会連絡会だより 中部地区危険物安全協会連絡会	33
◇ 【ちょっとひといき・コラム】 「人材教育」 三島市防火協会理事 赤城 博由（総務委員会 委員）	36

◇ 危険物安全協会連絡会だより 「西風のたより」 西部地区危険物安全協会連絡会	3 7
【ちょっとひといき・コラム】	
「うさぎグッズ」 島田・北榛原地区危険物安全協会会长 浅見 明彦	3 9
「手作り椅子に癒される」 菊川市危険物安全協会会长 濱崎 興基（広報委員会 委員）	4 0
◇ 地区協会の広場	
長泉町防火協会	4 1
富士市防火協会	4 4
浜松市防災協会	4 7
【ちょっとひといき・コラム】	
「成人式（創立20周年）を迎えて」 湖西市危険物安全協会 会長 松山喜代志	5 0
◇ 県危連からのお知らせ	
・ 県危連からのお知らせ	5 1
・ 危険物取扱者試験予備講習のご案内	5 2
・ 危険物取扱者の義務と保安講習	5 3
・ 視聴覚教材一覧	5 5
・ 平成30年度事業報告書	5 6
・ 平成30年度決算書	6 1
・ 令和元年度事業計画書	6 3
・ 令和元年度収支予算書	6 7
・ 役員・地区協会会长名簿	6 9
・ 賛助会員名簿、各委員会の委員名簿	7 1
◇ 地区協会事務局住所	7 2
◇ 【編集後記】	7 3



会長あいさつ

一般社団法人 静岡県危険物安全協会連合会

会長 中島博康

当連合会の会報「第69号」の発行にあたり、会員の地区協会の皆様及び消防等関係機関の皆様には、日頃、当連合会の事業及び運営にご理解とご協力をいただいておりますことにお礼申し上げます。

台風15号の急接近によりまして、開催が危ぶまれました今年度の創立記念大会も、無事、開催できました。開催にあたっては、皆様に何かとご心配をいただきましたこと、またご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

また、10月には、大型で強い台風19号が伊豆半島に上陸し、県内は猛烈な風雨となりました。この台風15号及び台風19号により、人的被害が発生したほか、各地での浸水、冠水に加え、風による建物被害、河川の増水による橋の崩落、土砂崩れなど被害が相次ぎました。被害にあわれました方々には、心よりお見舞いを申し上げる次第であります。

一方、東名高速道路など主要幹線の通行規制やJR東海道線、伊豆急行線等の公共交通機関の運休、大規模な停電や水道の断水などライフラインへも甚大な影響があり、日常生活に大きな支障が出たところであります。

全国を見ましても、これら台風で大きな被害があったほか、これまで経験したことのないような豪雨や火山の噴火、昨年の北海道胆振地方での震度7の地震や今年6月の山形県での震度6強の地震など様々な自然災害に見舞われています。

私たちとしては、いつ、どこで起こるかわからない災害に対して、それが身近で起きる可能性があることを思い、いかなる事態が起ころうとも大丈夫なよう、日頃から災害への備えに心がけておくことが大切であります。まさに「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉を肝に銘じなくてはいけないです。決して事故を起こすことのないよう、平時はもちろんのことですが、災害も想定しながら設備の安全、運営の安全に万全を期していくことが、危険物を取り扱う私たちの使命であります。

当連合会といたしましても、危険物に係る災害防止を図るため、危険物に係る安全意識の啓発・普及活動をはじめ、保安講習等を通しての人災育成事業等、各種の事業になお一層、努力してまいりますので、皆様方には引き続きご協力いただきますようお願ひいたします。

終わりに、地区協会、行政当局など日頃お世話になっています皆様方のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。



会報の発行に寄せて

静岡県危機管理部消防保安課長

細 沢 光 晴

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の皆様におかれましては、平素から危険物に係る安全思想の普及をはじめ、危険物を取扱う施設・設備等における安全管理体制の整備などに積極的に取り組まれ、地域社会の安全確保に多大な貢献をいただいており、厚くお礼申し上げます。

さて、危険物施設における火災や流出事故等の件数は、平成6年の287件から増加に転じ、平成19年以降は高い水準で推移しています。平成30年中の事故件数については、全国で609件発生し、前年に比べて45件の増加となり、県内においては、29件発生し、前年に比べて13件の増加となっています。

危険物の事故は、一度発生すれば甚大な被害をもたらす恐れがあり、多くの生命や財産が奪われるだけでなく、地域社会に大きな影響を与えます。

特に、来年は東京2020オリンピック・パラリンピック大会競技が、県内においても開催されます。競技期間中は、多くの観客等が来静されますことから、危険物の保安と安全対策に万全を期し、より一層の事故防止対策に取り組むことが必要と考えます。

南海トラフ地震の発生が予想される本県においては、県民の生命・財産を守ることを県政の最重要課題と位置付け、危機管理体制の強化、大規模地震・噴火災害対策、火災予防・救急救助対策などを推進しております。

とりわけ、事前に発生を予測することが極めて困難な災害に対し、危険物施設等の被害を最小限にするためには、万一に備え応急対応や復旧等を適切に実施できるよう、計画の策定や繰り返し訓練を行うなど、平常時から、不測の事態に備えておくことが重要です。今後とも、関係の皆様と連携いただき、積極的な防災対策と保安活動の推進に努めていただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会のさらなる御発展と、皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。

令和元年度 危険物安全大会

令和元年6月3日（月）に令和元年度危険物安全大会が、東京都千代田区のルポール麹町で、全国の危険物安全協会関係者をはじめ、消防庁長官など多数の関係者出席のもと、盛大に開催されました。

式典は、黒田武一郎消防庁長官の式辞に続き、消防庁長官表彰、一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰・感謝状の受賞者に表彰状・感謝状が授与された後、危険物安全大会宣言で締めくくられました。

表彰式後、秋草学園短期大学学長・淑徳大学名誉教授 北野大氏により、「安全・安心な社会を目指して」と題した記念講演が行われました。

なお、当日、受賞の栄誉に輝かれた本県関係者は次のとおりです。心よりお祝い申し上げます。

消防庁長官表彰

◆危険物保安功労者（個人）

鈴木 厚 （一社）静岡県危険物安全協会連合会理事
磐田市危険物安全協会会长

◆優良危険物関係事業所

中外製薬工業株式会社藤枝工場 志太危険物安全協会

一般財団法人全国危険物安全協会理事長表彰等

◆危険物保安功労者（個人）

根上 武久 御殿場市小山町防火安全協会
吉田 清和 浜松市防災協会

◆優良危険物関係事業所

THKリズム株式会社本社浜松工場 浜松市防災協会

◆感謝状

山本 裕 富士宮市防火安全協会

令和元年度 危険物安全大会

日時：令和元年6月3日（月）

場所：ルポール麹町（東京都）



危険物安全大会 会場



黒田消防庁長官式辞



消防庁長官表彰を代表受領（鈴木理事）



消防庁長官表彰（中外製薬工業㈱藤枝工場）



受賞者の皆さん



記念講演

総務省消防庁長官表彰

○危険物保安功労者（個人）

鈴木 厚 株式会社 金重
(一社) 静岡県危険物安全協会連合会 理事
磐田市危険物安全協会 会長



令和元年 6 月 3 日（月）東京都のルポール麹町で開催された「令和元年度 危険物安全大会」において保安功労者 消防庁長官表彰を受賞いたしましたことは、誠に光栄であります。これも、静岡県危険物安全協会連合会をはじめ、磐田市危険物安全協会、磐田市消防本部の皆様の支援の賜物と深く感謝しております。

磐田市危険物安全協会は、会報誌の発行や先進的な事業所などの視察研修、各分野でご活躍されている方々を講師にお招きして講演会を開催しています。その他、市民に対し火災予防広報を市消防本部と合同で行なっています。当地区から危険物災害を出さないように活動を続けており、当地区は多くの企業や工場がありますが、会員の皆様の危険物に対する意識も高く、近年は危険物に起因する重大な事故の発生もありません。今後も磐田市が安全・安心なまちとなるように、市と連携を図りながら、危険物に関する知識の普及・啓発等、安全確保に向けた取組を一層推進してまいります。

この表彰は、永年協会に携わってきたご褒美だと思っております。これを励みに今後も協会の運営に努めてまいります。

総務省消防庁長官表彰

○優良危険物関係事業所
中外製薬工業株式会社藤枝工場 (志太危険物安全協会)



令和元年6月3日（月）東京都千代田区のルポール麹町で令和元年度危険物安全大会が開催されました。その席上において優良危険物関係事業所消防庁長官賞を受賞致しました。誠に光栄であり心より厚く御礼申し上げます。

これもひとえに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会関係各位及び志太危険物安全協会の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

弊社事業所は、昭和46年に医薬品の原薬合成工場として開業し、開所以来48年が経過しています。平成20年には経口固形製剤の工場を増設し、現在はおよそ400名の従業員が医薬品製造に従事しています。事業所の敷地が東名高速道路及び東海道新幹線に隣接していることから、敷地内の施設レイアウト設計段階から安全面への配慮をしてきました。原薬合成においては多種・大量の危険物を取り扱う中、多くの先輩方が安全操業に従事してきた結果、無事故・無災害を継続することができました。引き継いだ我々も安全管理体制を確立すべく、万が一に備えた教育訓練を徹底するとともに、各所で開催される研修会等に積極的に参加しております。また、志太危険物安全協会の事業である保安指導を通じて、会員事業所間で管理体制を確認し、互いに安全意識の向上に努めてきました。

この度の受賞を機に、更なる自主保安管理体制の強化と地域の振興に寄与できるように、工場従業員一丸となり事業所の防火・防災対策に取り組んでまいります。

最後に、（一社）静岡県危険物安全協会連合会及び志太危険物安全協会の益々の発展と関係する皆様のご健勝とご多幸を祈念し、お礼とさせて頂きます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

根上 武久 有限会社中村石油 代表取締役
御殿場市小山町防火安全協会 副会長



令和元年6月3日（月）、東京都千代田区のルポール麹町にて令和元年度危険物安全大会が開催され、その席上において全国危険物安全協会理事長表彰をいただき、危険物保安功労者として栄えある表彰を受けることができました。

これもひとえに、静岡県危険物安全協会連合会関係各位及び御殿場市小山町防火安全協会並びに御殿場市小山町消防本部予防課の皆様の御指導、御鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

御殿場市小山町防火安全協会は、前身である御殿場市小山町危険物安全協会の時代から、各事業所及び施設の安全管理体制を確立すべく、消防本部との連携を取りながら訓練や研修を中心に活動してまいりました。「安全確保」の活動こそ健全経営そして地域貢献の大前提であり、最優先課題であると思っています。

この賞を機に、あらためて事故、トラブルの芽となる「曖昧さを排除」し「確認行為を徹底」することを再認識し、安全管理体制の強化に努める所存でございます。

最後に、静岡県危険物安全協会連合会並びに御殿場市小山町防火安全協会のますますの発展と関係各位の皆様の御健勝を祈念しお礼とさせていただきます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

吉田 清和 明石吉田屋産業株式会社 取締役会長
浜松市防災協会 理事



令和元年6月3日（月）、東京都千代田区のルポール麹町で令和元年度危険物安全大会が開催され、その席上で、全国危険物安全協会理事長より危険物保安体制の確立に貢献したとして名誉ある表彰を受けることができました。

弊社は、株式会社吉田屋として昭和33年に創業し、一昨年には社名を明石吉田屋産業株式会社に変更し、一貫して石油製品販売事業をしてまいりました。

浜松市（当時は浜名郡雄踏町）において石油製品販売事業を始めて62年目になります。私自身も危険物の取扱いに携わり45年目になりますが、今日まで無事故で過ごすことができたのは、浜松市消防局、浜松市防災協会の皆様のご指導とお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

私たち危険物を取り扱う事業所では、ひとたび災害が起これば被害は自分の事業所だけに留まらず、付近住民への影響は計り知れません。

これからも危険物の取扱いには十分注意し、安全管理を怠ることなく、なお一層の努力をして、危険物施設の安全安心を心掛けていくとともに、災害全般に対しても事業所の防災思想の普及啓発と自主防災管理体制の確立に取り組んでまいります。

私自身も、この表彰を機に、浜松市防災協会の事業に寄与できるよう努めてまいりますので、引き続き関係各位からの御指導を宜しくお願い申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰

○優良危険物関係事業所
THKリズム株式会社 本社浜松工場（浜松市防災協会）



令和元年6月3日（月）、東京都千代田区のルポール麹町で令和元年度危険物安全大会が開催され、その席上において、優良危険物関係事業所として全国危険物安全協会理事長表彰受賞の栄誉を賜りましたことは、御推薦を頂きました浜松市消防局、浜松市防災協会、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の皆様方の御指導御鞭撻の賜物と厚く御礼申し上げます。

当事業所は、戦前の中島飛行機浜松製作所を前身に、昭和36年にミシン製造をメインとするリズムフレンド製造（株）としてプリンス自動車工業より分離独立して創業し、モータリゼーションの流れの中で自動車の重要保安部品製造会社として今日に至ります。危険物関係と致しましては、構内に危険物貯蔵所と一般取扱所があり、防火管理者指導の下、保安監督者正副8名及び自主防災組織にて日々の防火・防災に取り組んでおります。

昨今の異常気象による自然災害や南海トラフ大規模地震の発生が危惧されている中、「火災は人災」として捉え防災意識の高揚を常に図り、今後も関係機関との連携を更に密にしながら事業所の防火・防災思想の普及啓発と自主防火管理体制の確立に取り組んでいく所存であります。

この表彰を機に、企業として更に改善を推進し、地域社会の発展に貢献できるよう努めて参りますので、引き続き関係各位からの御指導の程よろしくお願い申し上げます。

(一財) 全国危険物安全協会理事長感謝状

○感謝状

山本 裕 山本デーゼル工業株式会社 代表取締役社長
富士宮市防火安全協会 前会長



このたび、令和初めての危険物安全大会におきまして（一財）全国危険物安全協会理事長から、感謝状を賜りましたことは光栄の至りにあります。

これも偏に関係各位の皆様のご高配とご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

私たちの日常生活や企業活動は、危険物と隣り合わせの環境の中でなされています。危険物は、生活を豊かにする反面、貯蔵や取扱いを誤ると大きな被害を発生しかねないものであり、危険物の貯蔵及び取扱いの重要性を改めて認識することは防火・防災への意識を高めることにも繋がることと考えております。

私が会長を務めさせていただいた6年間、各事業所における自主保安体制について活発な意見交換を行い、AEDや防災テント等を揃えることで防火安全協会の備品を強化し、富士宮市の防火を担う一翼として様々な災害に備えることに尽力いたしました。任期中に富士宮市内において大きな災害がなかったことは幸いですが、今後も、発生が予想されている南海トラフ地震や想定外の災害に備えていくよう努めていきたいと考えおります。

結びに、このような機会を与えて頂きましたことに改めて感謝申し上げ、併せて静岡県危険物安全協会連合会の今後益々の発展と関係各位のご健勝を心からご祈念申し上げお礼とさせて頂きます。

令和元年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会

令和元年9月9日（月）、（一社）静岡県危険物安全協会連合会の第49回創立記念大会が、静岡市の静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」で盛大に開催されました。当日は、来賓として、静岡県危機管理監代理兼危機管理部部長代理 加藤晃一様、静岡県消防長会会長 村田吉伸様のご臨席を賜り、また、多くの来賓、地区協会関係の皆様のご参加をいただきました。

中島博康会長のあいさつの後、長く保安管理等に務められた個人と事業所に対し、静岡県知事及び連合会会長から、賞状、褒状、感謝状がそれぞれ授与されました。

その後、名古屋大学減災連携研究センター長 福和伸夫教授より、南海トラフ地震で予測される被害と対応について、「『彼を知り己を知れば百戦殆からず』で南海トラフ地震を凌ぐ」と題して、記念講演が行われました。

（1）静岡県知事表彰

（保安功労者）

明石 爲 晴
森永製菓株式会社 三島工場
清水エル・エヌ・ジー株式会社

浜松市防災協会
三島市防火協会
静岡市防災協会

（2）静岡県知事褒賞

（保安功労者）

近藤 利信
鈴木 利郎

沼津市防火協会
島田・北榛原地区危険物安全協会

（優良事業所）

矢崎エナジーシステム株式会社富士工場
サッポロビール株式会社静岡工場
ヤマハ株式会社本社事業所

御殿場市小山町防火安全協会
志太危険物安全協会
浜松市防災協会

（優良危険物取扱者）

西川 幸男

湖西市危険物安全協会



中島会長挨拶



加藤県危機管理監代理祝辞

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(保安功労者)

岩崎 克己	下田地区危険物安全協会
三好 高昭	伊東市危険物安全協会
杉山 博之	富士市防火協会
三枝 孝夫	富士宮市防火安全協会
長谷川 透	志太危険物安全協会
増井 照司	志太危険物安全協会
糸田 一郎	吉田榛原危険物安全協会
渡邊 拓司	御前崎市危険物安全協会
永田 茂司	菊川市危険物安全協会
漆畠 晃	掛川市危険物安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良事業所)

株式会社ホテルはまのゆ	東伊豆町危険物安全協会
リゾートトラスト株式会社 グランドエクシブ 初島クラブ 初島フィッシャリーナ	熱海市防火協会
有限会社松下商店	田方防火協会
東宏生コンクリート工業株式会社	清水町防火協会
ジャトコ株式会社A/T工場蒲原工場	静岡市防災協会
持田製薬株式会社藤枝事業所	志太危険物安全協会
NOK株式会社静岡事業場	牧之原市相良地区危険物安全協会
株式会社ソミック石川竜洋工場	磐田市危険物安全協会
ヤマハファインテック株式会社	浜松市防災協会
湖西アスコン共同企業体	湖西市危険物安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

山田 耕司	下田地区危険物安全協会
土屋 博正	伊東市危険物安全協会
加藤 久雄	熱海市防火協会
芹澤 和彦	田方防火協会
吉松 基	沼津市防火協会
伊藤 良男	清水町防火協会
泉谷 俊博	三島市防火協会
稻井 唯	長泉町防火協会
渡辺 愛祐	裾野市防火協会
鈴木 信良	御殿場市小山町防火安全協会

(3) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長表彰

(優良取扱者)

野 中 健二郎	富士市防火協会
赤 池 陽	富士宮市防火安全協会
長 澤 佳 明	静岡市防災協会
水 島 速 夫	志太危険物安全協会
多 田 良 敦	島田・北榛原地区危険物安全協会
高 橋 広 樹	吉田榛原危険物安全協会
大 石 保 典	牧之原市相良地区危険物安全協会
鳥 羽 弘 一	御前崎市危険物安全協会
鈴 木 規 仁	菊川市危険物安全協会
平 出 幹 夫	袋井保安管理協会
大 野 真 敏	磐田市危険物安全協会
酒 井 隆 敏	浜松市防災協会
鈴 木 基 良	湖西市危険物安全協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(連合会理事・監事・地区協会会长)

市 岡 由 寿	前裾野市防火協会長
寶 勝 智 貴	前島田・北榛原地区危険物安全協会長
平 松 敏 和	前菊川市危険物安全協会長
大 谷 勇	前湖西市危険物安全協会長

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(連合会事業貢献者)

田 村 仁	前連合会総務委員会委員 (前磐田市危険物安全協会副会長)
-------	---------------------------------

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状

(地区協会事務局前担当者)

大 塚 仁 司	沼津市防火協会
日 吉 哲 也	長泉町防火協会
杉 本 敏 行	御殿場市小山町防火安全協会
木 村 祐 也	富士市防火協会
鈴 木 達 也	富士宮市防火安全協会
大 林 諭 司	菊川市危険物安全協会
浅 井 宏次郎	掛川市危険物安全協会
山 中 政 嗣	掛川市危険物安全協会

(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(地区協会事務局前担当者)

佐野 剛
太田 晃 弘
大島 繼 之

袋井保安管理協会
磐田市危険物安全協会
浜松市防災協会

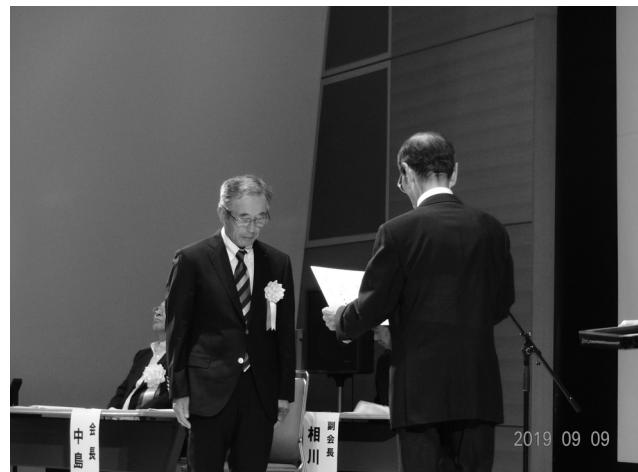
(4) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会 会長感謝状
(連合会主催保安講習会講師)

山田 剛 行

静岡市消防局



知事表彰授与



会長表彰授与



受賞者の皆様



村田県消防長会会長祝辞

静岡県知事表彰

○保安功労者（個人）

明石 爲晴 明石石油株式会社 取締役会長
浜松市防災協会 理事



この都度、令和元年9月9日（月）、静岡市のグランシップで行われました創立記念大会において、静岡県知事より危険物保安体制の確立に貢献したとして名誉ある表彰を受けることができました。

弊社は、明治33年（1900年）に染料商「明石染料店」として浜松の地に創業し、大正2年には石炭の販売を開始、昭和24年に石油製品の販売を開始しました。翌年の昭和25年には浜松市伝馬町に給油所を開設し、昭和30年に石油部が分離独立し、現在の「明石石油株式会社」となりました。来年2020年には創業120年を迎えます。

私自身も長年に渡り危険物の取り扱いに携わってまいりましたが、今まで無事故で営業することができたのは、ひとえに浜松市消防局、浜松市防災協会の皆様のご指導とお力添えの賜物と深く感謝しております。

これからも危険物の取り扱いには十分注意し、安全管理を怠ることなく、なお一層の努力をして、地域社会の豊かな生活の実現と産業の発展に貢献してまいります。

結びに、一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会の益々のご発展と、会員企業の皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。

静岡県知事表彰

○保安功労者

森永製菓株式会社 三島工場
工場長 千種 宗毅 (三島市防火協会 副会長)



この度は、令和元年9月9日（月）に開催されました（一社）静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会におきまして静岡県知事表彰という栄えある賞を賜り、大変光栄に存じます。これもひとえに、（一社）静岡県危険物安全協会連合会をはじめ、三島市防火協会の皆様の支援の賜と深く感謝申し上げます。

弊社は、明治32年、創業者・森永太一郎が「日本人々に栄養価のあるおいしい西洋菓子を届けたい」という夢を抱いて創業してから今日まで、その夢とパイオニアスピリットを“おいしく、たのしく、すこやかに”の企業理念とともに受け継いでまいりました。おかげさまで今年、創業120年を迎えることが出来ました。

三島工場は、弊社が大正7年に設立した日本練乳株式会社の錦田工場を前身として、その後の経済曲折を経て、現在は森永製菓の主力製品であるインゼリーとココアを製造している工場です。従業員は130名程と多くはありませんが、危険物を取扱う従業員のみではなく、他の従業員にも積極的に資格を取得させ保安管理体制の拡充を図っており、危険物の取扱いが始まって以降、法令遵守と災害の未然防止に日々取り組んでいます。

今後も、地区協会とともに防火・防災の普及活動を行い、災害に強いまちづくりに貢献できる活動を継続してまいります。

最後に、（一社）静岡県危険物安全協会連合会並びに三島市防火協会の益々のご発展と、関係各位のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

静岡県知事表彰

○保安功労者

清水エル・エヌ・ジー株式会社
代表取締役社長 勝又 茂（静岡市防災協会）



この度、令和元年9月9日にグランシップで開催されました一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会創立記念大会におきまして、危険物取扱保安功労者として静岡県知事表彰をいただきました。これもひとえに静岡県危険物安全協会連合会様と、静岡市防災協会様並びに関係各位のご指導の賜物と感謝しております。

弊社は静岡ガスグループの事業会社としてLNG基地を運営し、都市ガスの製造をおこなっております。静岡ガスグループでは企業理念のなかで『地域社会の発展に寄与するため 製造供給の安定、安全の確保 サービス向上に最善を尽くす』と定めており、弊社もこの理念に基づき運営をしております。その結果、操業開始以来23年間、無事故、無災害で事業を継続するとともに、生産量も大きく伸ばすことができました。今後も操業の根幹となる安全に関する取り組みを最優先で実施し、社会に貢献していきたいと考えております。

静岡県危険物安全協会連合会様の益々のご発展と、関係各位のご健勝を心から祈念し、御礼とさせていただきます。

清水エル・エヌ・ジー株式会社 袖師基地（静岡市清水区袖師町1900番地）

・平成8年7月操業開始

・従業員 47名

・事業内容

ガスの製造及び販売。液化天然ガス（LNG）の購入及び貯蔵ならびに販売

静岡県知事褒賞受賞者

(敬称略)



近藤 利信



鈴木 利郎



矢崎エナジーシステム株式会社 富士工場



サッポロビール株式会社 静岡工場



ヤマハ株式会社 本社事業所



西川 幸男

創立記念大会 記念講演

日時：令和元年9月9日（月）14：45～16：10
会場：グランシップ 11階 会議ホール 風

「彼を知り己を知れば百戦殆からず」で 南海トラフ地震を凌ぐ



名古屋大学減災連携研究センター長・教授

ふく わ のぶ お
福 和 伸 夫 氏

南海トラフ地震は必ず来ます、逃げられません。地震被害を生み出すのは私たち自身の価値観のようです。災害対応力が落ち、子供たちの心身の生きる力や、社会の協働の力が落ちています。

見たくないことから目を背けるのは私たちの性(さが)です。見たくないことも直視し震災を克服しましょう。

地震の危険を知れば、危険を避けることができます。自分の弱さを知れば、「転ばぬ先の杖」と備えの対策ができます。そうすれば、「備えあれば憂いなし」で、地震を乗り越えられます。さらに一歩進めれば、互いに助け合う素晴らしい社会を作ることができます。

歴史をひも解きながら、南海トラフ地震で予測される被害と対応についてお話しします。

プロフィール

1981年名古屋大学大学院工学研究科修了

2012年より名古屋大学減災連携研究センター長・教授

2017年より あいち・なごや強靭化共創センター長

専門分野は、建築耐震工学、地震工学、地域防災

日本建築学会賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、日本建築学会教育賞等を受賞

社会活動として、日本地震学会代議員、防災教育普及協会理事、緊急地震速報利用者協議会長、

中央防災会議や静岡県地震・火山対策分科会など多方面で御活躍

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



備えあれば憂いなし

裾野市防火協会 会長

堀 田 正 昭 (広報委員会委員)

本年5月の裾野市防火協会総会におきまして、会長職を仰せつかりました。

裾野市防火協会は本年創立30周年を迎え、7月に「裾野市防火協会創立30周年記念式典、祝賀会」を開催致しました。本式典には多くのご来賓、関係者の皆様にご臨席頂き、これから協会活動を進めていくうえで大いに励みになりました。この場をお借りして厚く御礼を申し上げますと共に、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて私事ではございますが、所属会社では防火・防災、安全衛生、海外危機管理（海外における従業員の防犯対策）の業務を担当しております。幅広い業務ですが、全てに共通することはどれも「従業員の命を守る」ということです。

企業にとって従業員は大事な財産であり、その従業員が安心、且つ活き活き働けるように、私は以下を基本方針として安全な環境作りを目指し、日々活動を行っています。



- ・「従業員、家族の人命第一」

人命確保のために会社としてやるべき安全対策は全て施す。（安全配慮）

- ・「自分の安全は、自分の手で確保する」

各自が安全に対する強い意識を持ち、会社が施す安全対策を一人ひとりが実践する。



これらは予防対策のための考え方となります、それと併せて有事が発生した場合の初動対応（被害の拡大防止）への啓発も重要となります。つまり、火災が発生した時の消火・通報、自然災害発生時の避難、テロなどの犯罪が発生した時の身の安全確保などです。これらを円滑に行う為には日頃の訓練や心構えなどが重要になります。

中国の孔子が編集した史書「春秋」に『居安思危 思則有備 有備無患（安きに居りて危うきを思う。思えばすなわち備えあり。備えあれば患い無し）』という言葉が残されていますが、これは、以下の危機管理に対する心構えの重要性を表していると思います。

1. 平安無事の時にも、危難に備え、用心を怠らない。
2. 平時からの用心が、すなわち備えとなる。
3. 備えがあれば、いざという時にあわてずに済む。

私はこの『備えあれば憂いなし』を忘れずに、これからも安全意識の啓発活動につとめていきたいと考えております。

静岡県消防保安課からのお知らせです。



地元の消防団を応援してください！！

静岡県危機管理部消防保安課

皆様、消防団を知っていますか？

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置される消防機関であり、消防団員は、それぞれの自分の仕事を持しながら地域防災の担い手として、地域に密着して活動し、住民の安全と安心を守るという重要な役割をもっています。

静岡県内には、昭和60年に約2万6千人の消防団員がいましたが、現在は2万人を切るまで減少しており、活動を維持するためには地域防災の要である消防団員に対する一層の理解と支援が必要となっています。

かつて、消防団員は自営業者が中心でしたが、社会環境の変化に伴い、現在は約8割の消防団員が、「サラリーマン団員」として消防団活動に従事しています。

このことから、本県では、平成24年度から消防団の活動に協力する事業所に対して、事業税を減額する条例（※）を施行し、消防団員の活動環境の整備を図っています。

事業所として消防団活動に協力することが、その地域に対する社会貢献として認められ、事業所の信頼性の向上・イメージアップを図ることができます。

事業所の皆様におかれましては、本条例による認定を受けていただくことなど、消防団への一層の御協力を願いいたします。

また、県内の消防団では、消防団員を随時募集しておりますので、興味がある方は、お近くの消防本部等にお問い合わせください。

※【消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例】

1 対象

以下の要件を満たす、知事の認定を受けた法人（資本金若しくは出資金の額が1億円以下の法人 又は出資金の額が1億円を超える特別法人 に限る。）又は個人

- （1）県内に事業所を有し、かつ当該事業所等のすべてが県内市町の「消防団協力事業所表示制度」の認定を受けていること。

- (2) 県内の事業所等における使用人等のうち、消防団員が1人以上（出資金の額が1億円を超える特別法人にあっては3人以上）いること。
- (3) 消防団活動について配慮した規程（就業規則等）が整備されていること。

2 適用税目及び控除内容

- (1) 適用税目：法人事業税、個人事業税
- (2) 控除内容：事業税の1/2に相当する額を控除（100万円を限度）

具体的な手続き、窓口については県のホームページ等でお知らせしています。

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/shobo/index.html>



◆◆◆ 国の動き ◆◆◆

平成30年危険物関係法令の改正概要と主な通知

参考資料：（一財）全国危険物安全協会保安講習テキスト（H31年版）

1 平成30年中の危険物関係の主な通知

No.	通 知 の 名 称 及 び 概 要
1	<p>●危険物等に係る事故防止対策の推進について（平成30年3月28日 消防危第41号）</p> <p>平成29年3月に危険物等事故防止対策情報連絡会（以下「連絡会」という。）で決定した「危険物等に係る事故防止対策の推進について」に基づき、毎年度「危険物等事故防止対策実施要領」を策定し、関係機関が一体となった事故防止等を推進しているところであり、平成元年から平成28年の間の危険物施設における重大事故等の発生状況から、危険物等に係る重大事故発生防止対策の考え方等が取りまとめられた。また、危険物関係業界における平成29年度の参考となる取組事例が示された。</p>
2	<p>●「地下貯蔵タンク及びタンク室の構造例について」の一部改正について（平成30年4月27日 消防危第73号）</p> <p>地下貯蔵タンク及びタンク室の構造については、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（平成17年総務省令第37号）及び危険物の規制に関する技術上の基準の細目を定める告示の一部を改正する件（平成17年総務省告示第349号）により、性能規定化が図られた。この性能規定化に伴う許可、検査等の事務の効率化を確保する観点から、地下貯蔵タンク及びタンク室として一般的に設置されているものの構造例について、「地下貯蔵タンク及びタンク室の構造例について」（平成18年5月9日付け消防危第112号。以下「112号通知」という。）により運用してきたが、その一部が改正された。</p> <p>（解説1参照）</p>
3	<p>●風水害発生時における危険物保安上の留意事項及び危険物施設の被害状況調査について（平成30年9月27日 消防危第179号）</p> <p>平成30年7月豪雨や台風21号等の大規模な風水害が相次いで発生しており、危険物施設においても、浸水、土砂流入、強風等により被害が発生している。このため、風水害発生時における危険物保安上の留意事項（解説2参照）が取りまとめられ、危険物施設の関係者への周知が図られた。</p>

【解説1】「地下貯蔵タンク及びタンク室の構造例について」の一部改正について

112号通知の別紙で例示する地下貯蔵タンク及びタンク室の構造における設置条件等について、「別紙で示す標準的な設置条件等において」としていた部分を「タンク室上部の土被りがないこと等の標準的な設置条件等において」と改めた。

なお、運用上の留意事項として、近年、震災等に備え、非常用発電機を長時間運転ができるよう、地下タンク貯蔵所の容量を増加し、その際に建物敷地の制約等からタンク室が地下深く設置されるようになってきており、また、地下タンク貯蔵所は、タンク室や地下貯蔵タンク等が地盤面下において埋設されていることを前提として、位置、構造及び設備の技術上の基準が

従来規定されているものであるが、維持管理の容易さ等から、タンク室の上部と地盤面の間に地下空間を設ける例も散見されるようになっている。

地下深くに設置されるタンク室や上部に地下空間を有するタンク室など、構造例において想定されていない設置形態のタンク室については、個別の地下タンク貯蔵所の条件に応じた構造計算等により、危政令第13条第1項第14号、危規則第23条の4及び告示第4条の50に規定される技術上の基準に適合することを確認する必要があるため、「危険物の規則に関する規則の一部を改正する省令等の施行について」(平成17年3月24日付け消防危第55号)第1の5を参考にするとともに、必要に応じ第三者機関の評価資料を活用することとした。

【解説2】風水害発生時における危険物保安上の留意事項

平成30年7月豪雨や台風21号の影響により、多数の給油取扱所において被害が発生し、関連機器メーカーからの速報によると、浸水による電気設備の故障、タンクへの水混入、流水による防火扉の破損や舗装面の洗堀、危険物運搬車両の流出、敷地内への土砂の流入・堆積、強風による防火扉や設備・機器の倒壊、キャノピーからのパネル落下等が生じた。

また、港湾のコンテナヤードにおいては、強風によるコンテナの荷崩れ、高潮によるコンテナ流出、積荷のマグネシウムが漏洩しての火災等が発生した。

さらに、アルミニウム工場（重油の貯蔵・取扱いを行う危険物施設）において、浸水により、アルミニウムの溶融高熱物が水と接触したことによるものとみられる爆発が発生し、周辺建物の延焼、破損等が生じた。

これらの被害状況や、風水害に伴う停電の影響等を踏まえ、危険物保安上の主な留意事項が以下のとおりまとめられ、危険物施設の関係者において、各施設の形態や危険物の貯蔵・取扱い等の状況に応じ、必要な措置を講ずるに当たっての参考とすることとされた。

(1) 平時からの事前の備え

- ア 危険物施設が所在する地域のハザードマップを参照し、当該施設が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に入っているかどうかや、降雨や高潮に伴う浸水高さ等を確認しておくこと。
- イ 上記アを踏まえ、当該施設において、長雨や台風の接近に伴い浸水等の発生が想定される場合には、被害発生の危険性を回避・低減するために必要な措置を検討し、計画策定や教育訓練等の準備を行うこと。

<事前の備えの例>

- ・計画的な操業の停止や規模縮小、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等に関する判断基準や実施要領を策定する。
- ・停電時においても温度や圧力等の管理を継続することが必要な物品については、自家発電設備等のバックアップ電源を確保する。
- ・下記(2)の応急対策について、従業者等の教育訓練を行う。 等

(2) 風水害の危険性が高まってきた場合の応急対策

- ア 危険物施設等における被害の防止・軽減を図るために、気象庁や地方公共団体等が発表する防災情報を注視し、浸水、土砂流入、強風、停電等による危険性に応じた措置を講ずること。

<浸水、土砂対策の例>

- ・土のうや止水板等により危険物施設内への浸水や土砂流入を極力防止する。
- ・配管の弁やマンホールを閉鎖し、危険物の流出を防止するとともに、タンクや配管への水や土砂の混入を防止する。
- ・禁水性物質や金属の溶融高熱物など、水と触れると危険な物品については、高所へ移動する、水密性のある区画で保管する、金属の溶融高熱物の加熱をあらかじめ停止して十分温度を下げる等の措置を講ずる。
- ・屋外にある容器及びコンテナは、流出防止のため、高所へ移動する、ワイヤーや金具で相互に緊結する、重いものを下方に積む等の措置を講ずる。また、移動タンク貯蔵所についても、高台等への移動を実施する。 等

<強風対策の例>

- ・飛来物により配管等が破損した場合における危険物の流出を最小限にするため、配管の弁等を閉鎖する。
 - ・屋外にある容器及びコンテナは、転倒防止のため、ワイヤーや金具で相互に緊結する、重いものを下方に積む等の措置を講ずる。 等
- イ 上記アの対策を講じるに当たっては、従業者等の避難安全を確保することが必要であり、十分な時間的余裕をもって作業を行うこと。
- ウ 浸水等に伴い、大規模な爆発など周辺に危害を及ぼす事態に至る可能性がある場合には、速やかに消防機関等への通報を行うこと。 等

(3) 天候回復後の点検・復旧

ア 点検を行い、必要な補修をした後で再稼働を行うこと。

特に、浸水した施設では、電気設備のほか、危険物を取り扱う設備や配管も損傷している可能性があるため、目視点検だけでなく、作動状況や気密性、危険物への水の混入状況等について確認を実施すること。

また、台風等による強風や大雨に見舞われた浮き屋根式屋外タンク貯蔵所の点検・復旧については、「浮き屋根式屋外タンク貯蔵所の保安対策の徹底及び応急措置体制の整備について」（平成25年7月31日付け消防危第141号・消防特第154号）を参考として対応すること。

イ 電力復旧時の通電火災や漏電の防止のため、危険物施設内の電気設備や配線の健全性を確認すること。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

県内の危険物等に係る事故状況

1 危険物施設に係る火災等の事故発生件数

(年次別)

区分	静岡県					全国				
	26年	27年	28年	29年	30年	26年	27年	28年	29年	30年
爆発	0	1	0	1	0	203	215	215	195	206
火災	1	1	6	2	9					
流出・漏洩	3	11	9	11	12	396	345	356	369	403
小計	4	13	15	14	21	599	560	571	564	609
破損	0	0	0	0	7	219	173	179	193	*
その他	0	1	2	2	1					
計	4	14	17	16	29	818	733	750	757	-

*消防庁による統計業務見直しの結果、平成30年分から破損、その他の全国集計なし

2 事故増加の主な要因

近年における事故増加の要因は、①火災に関しては一般取扱所、製造所、給油取扱所等における管理不十分・確認不十分等の人的要因、②漏えいに関しては給油取扱所、地下タンク貯蔵所、移動タンク貯蔵所、一般取扱所等における危険物施設の老朽化等に伴う腐食・劣化の物的要因が主である。

3 県内の事故状況

県内の危険物等に係る事故は、平成29年は、17件（危険物施設16件、死亡1人、負傷15人）の事故が発生した。平成30年は、29件（危険物施設29件、負傷1人）の事故が発生している。

4 平成30年の県内の危険物等に係る事故

(平成30年1月～12月)

発生年月日	製造所等の区分	事故種別	事故概要	主原因	人的被害
H30.1.25	一般取扱所	火災	プレス機から作業工程時に発生した火源により纖維製品に着火した火災	維持管理不十分	なし
H30.2.8	一般取扱所	火災	第4類第1石油類を取扱中に、静電気火花が可燃性蒸気に引火した火災	維持管理不十分	なし
H30.2.9	移動タンク貯蔵所	流出	吐出口の操作確認不十分による重油の流出	操作確認不十分	なし
H30.3.20	一般取扱所	火災	潤滑油が噴出し、排気管に接触して発火した火災	不明	軽症1名

H30. 3.30	屋外タンク貯蔵所	流出	石油コンビナート等特別防災区域内における油の流出	腐食疲労等劣化	なし
H30. 4.17	給油取扱所	その他	ローリーから地下タンクへ荷卸し中、ガソリンタンクへ軽油を誤注入	誤操作	なし
発生不明 発見・覚知 H30. 4.19	地下タンク貯蔵所	火災	ポンプ設備のピット内において、可燃物が放火されたことによる火災	放火等	なし
発生不明 発見 H30. 5.8	地下タンク貯蔵所	流出	地下タンク貯蔵所からギアポンプまでの埋設配管における重油の流出	腐食疲労等劣化	なし
H30. 5.18	給油取扱所	破損	給油後のトラックが灯油キャノピーの屋根に接触し破損	破損	なし
H30. 6.11	一般取扱所	火災	タンク内のトルエンの可燃性蒸気に静電気火花が引火した火災	維持管理不十分	なし
H30. 6.25	移動タンク貯蔵所	流出	タンク上部マンホールから危険物20リットルが道路上に流出	維持管理不十分	なし
H30. 6.25	給油取扱所	破損	給油ホースを自動車がフロントバンパーで引っ掛けたことでノズルが破損	破損	なし
H30. 6.27	屋内貯蔵所	破損	煙火製造建物の爆発により、屋内貯蔵所の屋根、窓及び換気設備が破損	破損	なし
H30. 7.2	一般取扱所	火災	自家発電機エンジンの燃料ホースの破損により飛散した重油が排気ダクトに付着し着火	腐食疲労等劣化	なし
H30. 7.24	一般取扱所	流出	一般取扱所の固定注油設備から移動タンク貯蔵所への注油時に重油が流出	監視不十分	なし
H30. 8.23	給油取扱所	流出	自家用給油取扱所で給油中、給油ノズルの不具合により軽油が流出	故障	なし
H30. 9.10	屋内タンク貯蔵所	流出	屋内タンク貯蔵所で荷卸時にオーバーフローにより防油堤へ重油が漏洩。一部が防油堤のピンホールから河川等へ漏洩	腐食疲労等劣化	なし
H30. 9.25	地下タンク貯蔵所	流出	地下タンク貯蔵所の埋設通気管から廃油が流出	腐食疲労等劣化	なし
H30. 9.26	屋外タンク貯蔵所	流出	船舶から屋外タンク貯蔵所に荷卸中、配管ピンホールから重油が漏洩	腐食疲労等劣化	なし

H30.9.30	給油取扱所	破損	強風により給油取扱所の地上固定給油設備が転倒	地震等災害	なし
H30.9.30	一般取扱所	破損	強風により一般取扱所の屋根が破損	地震等災害	なし
H30.10.1	屋外タンク貯蔵所	流出	強風により圧力ゲージ取付配管を破損し、第4石油類が流出	地震等災害	なし
H30.10.1	屋外タンク貯蔵所	破損	強風により避雷設備が破損	地震等災害	なし
H30.10.1	給油取扱所	破損	強風によりキャノピー屋根の一部が破損	地震等災害	なし
H30.11.16	移動タンク貯蔵所	流出	軽油を移送中、単独事故により車両が横転し、軽油が道路上に流出	交通事故	なし
H30.11.23	一般取扱所	火災	一般取扱所で作業中、高温の鉄塊が電気配線等に付着し着火した火災	誤操作	なし
H30.12.3	一般取扱所	流出	工事作業中、誤ってボイラーへ接続する重油配管を破損させ、重油が流出	破損	なし
H30.12.7	製造所	火災	触媒ろ過工程で何らかの火源によりN-ヘプタンに着火した火災	調査中	なし
H30.12.27	一般取扱所	火災	取扱所内に設置されている天井走行クレーンの制御装置から出火した火災	施工不良	なし
計29件（火災9件、流出12件、破損7件、その他1件）				負傷 1人	

(参考資料；静岡県消防保安課)

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



野球と私

磐田市危険物安全協会 副会長

鈴木 芳明（広報委員会委員）

私は親父の影響で子供の頃から野球好きでした。親父が転勤族だった事もあり少年野球に籍を置く事はありませんでしたが、入りたくてモヤモヤしていた時期があったような気がします。そのモヤモヤした時期は親父とのキャッチボールや町内のソフトボールなどの代替えで乗り切り、中学、高校はめでたく野球部員として生活を送る事になりました。高校はガチガチの野球高校ではありませんでしたが、それでも部員は1学年20名くらいで、当然厳しい練習もありましたが楽しさ半分厳しさ半分という感じでした。今の時代ではありえない練習方法でヘロヘロになる日もありましたね。。。

社会人になり野球で養った感性、忍耐力、人間関係への対応力が今の自分には大きく影響していると感じており、自分の子供達には絶対野球をやって欲しいという思いがありました。長男が小学2年生になる頃に紹介された地元の少年野球チームに入団させました。それからというものお休みの日は息子と少年野球へ行き練習のお手伝いをするような日々となりました。

長男が4年生の頃に「コーチをやってくれないか」との要請があり引き受ける事になりました。しかし野球経験があっても子供達に野球を教える事は非常に難しく簡単なものではありません。いろいろな方の話を聞いたり、また本などを読んだりして自分なりに知識を増やしましたが、どうしても「野球を上手になって欲しい」、「強いチームにしたい」という気持ちが中心となり「野球の楽しさを子供達に伝える」という事ができていなかったように今となっては感じております。野球に何となく興味を持ち野球の楽しさを教わりたいという気持ちで来ている小学生に対し、教える側がこんな気持ちを前面に出す事が良かったのか。。。ダメな少年野球コーチだったのかもしれませんね。。。

少年野球の指導者について、今になって思う事はやはり一番はまず子供達に野球を好きにさせる事が役目だと思い始めました。メインコーチを10年弱やらせて頂きましたが、本当にそう思うようになったのは後半の数年でしたね。。。人に事を教えるながら本当に好きにさせてあげる事、楽しさと厳しさのメリハリ、自分からうまくなりたいと本心から思わせるように導く事は本当に難しい事です。。。が、そのように導けるのが少年野球の本当の指導者かな。。。と。今もう一度、指導者として本格的に野球に携わる事があればもう少し上手に出来るかな。。。と思っていますが、どんなもんでしょうかね。。。

何はともあれ、私の息子二人は高校野球まで、また娘は中学野球まで野球を続けてくれ

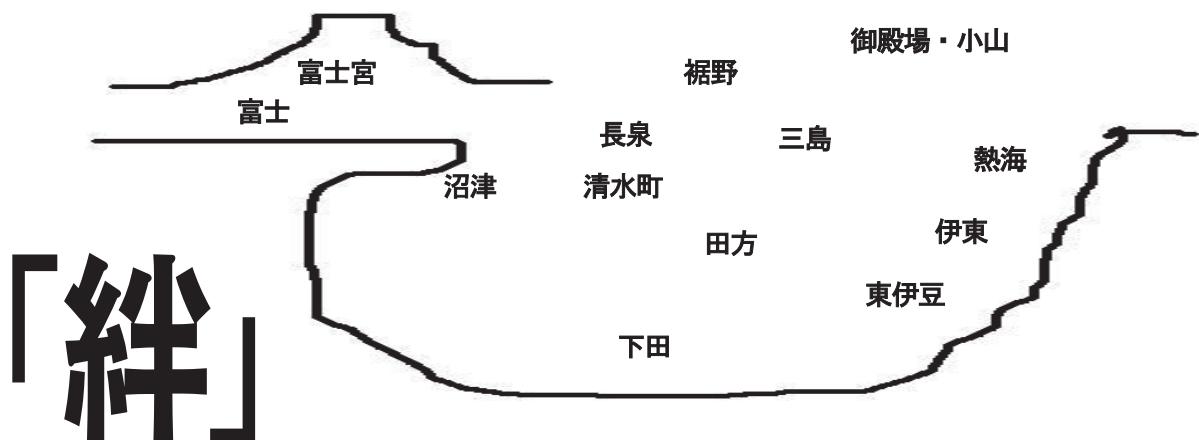
た事は本当にうれしい限りでした。。。指導者としてどうだったのかは分かりませんが、子供達には約15年間という随分長い間野球を楽しませてもらった事は紛れもない事実ですから。。。

昨今、野球人口が減っているとの事で、私としては非常に寂しい限りです。中学野球も合併チームが数多くあり、また高校野球もそのようなチームがかなり増えてきました。少子化の影響や野球以外にも脚光を浴びるスポーツが増えてきた事も要因の一つだと言われていますが。。。今後、更に野球人口が減る事なく、「野球をやりたい」という子供達が増えるよう、何か野球への恩返しをしていきたいと考えている今日この頃であります。



☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

静岡県東部地区危険物安全協会連絡会



令和元年度東部地区危険物安全協会連絡会は、役員及び幹事が人事異動等に伴い入れ替わり、新メンバーでスタートしております。長年、当連絡会に貢献していただいた方々にはこの場をお借りいたしまして感謝申し上げます。

さて、本年度の事業について、幹事会を5月24日に沼津市のF D I バンケットホールにて開催し、総会の打合せ等を行いました。

その後、東危連の事業や危険物規制事務等に関する情報交換を行い、親睦を深めることができました。

6月14日には、熱海市「起雲閣」において、正副会長会議並びに通常総会を開催しました。

総会では、県危連の小林常務理事並びに熱海市消防本部の稻田消防長にご臨席いただき、役員の皆様に各議題について熱心に審議していただきました。

視察研修は、「起雲閣」をガイドの案内により視察させていただきました。

日本を代表する多くの文豪に愛された邸宅「起雲閣」。

大正時代に別荘として建てられ、その後旅館となり、2000年に熱海市の所有となり、観光客など多くの方が訪れています。

日本の伝統的な建築様式の残る本館や離れ、外国様式が融合された独特な洋館に、緑豊かな庭園など優雅で気品に溢れる建物を見学し、皆一様に興味を示されておりました。

研修会終了後、場所を熱海市「ホテル玉の湯」に移し、懇親会を開催しました。

中島会長をはじめ、御来賓の方々や、役員、幹事など多くの方が参加し抽選会等を行い盛会裏に閉会しました。

全国的に、危険物事故が増加傾向にある中で、昨年度、当連絡会において幸いにも危険物が起因する事故はありませんでした。

今後も各事業所が保安管理体制を強化し、安心・安全をモットーに歩んでいきたいと思っております。

以下に本年度の事業を紹介します。

1 第1回幹事会

- (1) 月　　日　　令和元年5月24日（金）
(2) 場　　所　　沼津市　F D I バンケットホール

2 正副会長会議

- (1) 月　　日　　令和元年6月14日（金）
(2) 場　　所　　熱海市　起雲閣

3 令和元年度(第41回)通常総会並びに視察研修

- (1) 月　　日　　令和元年6月14日（金）
(2) 場　　所　　熱海市　起雲閣



令和元年度（第41回）静岡県東部地区危険物安全協会連絡会通常総会並びに視察研修

4 幹事研修会

- (1) 月　　日　　令和元年10月18日（金）
(2) 視察場所　　袋井市　大塚製薬(株)袋井工場

5 第2回幹事会

- (1) 月　　日　　令和2年3月6日（金）
(2) 場　　所　　沼津市　F D I バンケットホール

**無事故への
構え一分の
隙も無く**

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆

中部地区危険物安全協会連絡会



中部地区は、大井川をはじめ、一級河川、二級河川が駿河湾に流れしており、河川沿いに都市が発展している地域です。

近年河川の氾濫などの水害は発生しておりますが、日本全国をみると河川の氾濫や土砂災害が多く発生し、人命、財産に甚大な被害を及ぼしています。

危険物施設も例外ではなく、浸水による機械器具の故障、危険物への水の混入、敷地内への土砂の流入・堆積又強風による施設の破損などにより被害が発生し事業再開までに時間を要したなどの報告があがっています。

危険物は、ライフライン燃料、生活必需品の原料など幅広く使用されており、危険物施設が被災すれば、事業所の被害の他、市民の生活にも影響してきます。

危険物施設の事故の要因は、物的要因の他、人為的要因が多くしめていますが、日頃の点検・維持管理及び取扱いを注意すれば軽減することができます。

自然災害においても、事前の備えが重要になります。ハザードマップの確認や機械器具・施設の固定、土嚢の設置など、できることを確実に行えば被害を軽減することができるのではないでしょうか。

災害の時は、人命を第一に、その時で出来ることを一つでも実施する。
安心・安全の街のために。

【平成30年度の主な事業】

幹事会

各地区協会の事務局員が参加し、協会事業の円滑な推進等について協議するとともに、危険物規制事務に関する意見交換や研修会等の情報共有を積極的に行い、危険物施設での事故・違反の防止を図っています。

【第1回幹事会】

〈日 程〉 平成30年5月11日（金）
〈会 場〉 藤枝市立駅南図書館
〈議 題〉 平成29年度事業報告、収支決算報告
平成29年度事業計画、収入支出予算
危険物規制事務に関する情報交換 他

【第2回幹事会】

〈日 程〉 平成30年12月7日（金）
〈会 場〉 島田市地域交流センター「歩歩路」
〈議 題〉 平成30年度事業状況、予算執行状況報告
平成31年度事業計画
危険物規制事務に関する情報交換 他



幹事会風景

平成30年度総会

静岡県中部地区の危険物安全協会及び防火協会等が、事務事業に関する情報交換と連絡協調等の交流に努めることにより、各地区協会相互の事務事業の円滑な推進・発展と会員相互の親睦を図ることを目的としており、会則の変更、事業計画及び事業報告、予算及び決算、その他運営上重要な事項に関して決議を行います。

〈日 程〉 平成30年 6月15日（金）

〈会 場〉 静岡市中島屋グランドホテル

〈来 賓〉 （一財）静岡県消防試験研究センター静岡県支部 支部長 中西芳弘 氏
（一社）静岡県危険物安全協会連合会 事務局長 近藤 聰 氏

〈議 題〉 平成29年度事業報告、収入支出決算報告及び監査報告

平成30年度事業計画、収入支出予算 他



来賓、役員（会員）の皆さん

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



人材教育

三島市防火協会 理事
赤城 博由 (総務委員会委員)

近年、外国の教育は個性を尊重し、可能性を引きだし良い面を発揮させるように導くことである。なんでも抱え込まず、時としてはまわりに助けを求めて協力を依頼する。

そうしたことから、考え方も柔軟性を帯びてくる。失敗をおそれず、チャレンジしていく。これは、日本の教育と違うところである。

日本では、優れたところがあるとしても、欠点があるとそれだけで欠点ばかりを強調する傾向はないだろうか。それでは、人は伸びていかない。子供の教育も「褒めて育てる」と、耳にしたことがあるが、褒めることは大事なことだと思う。褒めてばかりではいけないが、褒めることによって、自分に自信が生まれ、ものごとに積極的になり好奇心旺盛になる。それが大事だ。失敗を恐れることなく、挑戦を続けていくことは、教育という意味では子供の教育も人材の教育も同じではないだろうか。会社としても、社員の自発性を引き出すことも必要である。

しかしながら、我が家子供たちに対しては、はたして・・・「褒めて育てる」ことができたかというと、なかなか難しかったということが、本音であるが。

最近では、中小企業を中心に人材不足が深刻化している。これからグローバル社会では、個々に得意とする分野で活躍する上でも、人材の教育は必要不可欠となる。成長しようとする意欲や、向上心、たとえやる気を前面に出すタイプでない人でも将来有望な人材かもしれない。将来にむけて、時間はかかると思うが、教育は大事な土台作りの為に長い目で見ていく指導であるということを大切に、また、自分自身も成長させてもらっていることを考えていきたい。

☆☆☆ 危険物安全協会連絡会だより ☆☆☆



西部地区危険物安全協会連絡会

令和元年度西部地区危険物安全協会連絡会は、会員並びに幹事が各地区協会の改選又は異動により、メンバーも入れ替わりスタートしています。

退任されました会員や幹事の皆様には、長年にわたり当連絡会に貢献いただきました事に感謝申し上げます。

さて、新聞やニュースで記憶されている方もおられると思いますが、平成30年6月27日に浜松市防災協会の会員事業所である浜松市北区細江町の煙火工場で爆発火災があり、2人の従業員の方がお亡くなりになりました。尊い命が亡くなってしまったことを大変悔やまれることであり、残念でなりません。亡くなられた方々の御冥福を慎んでお祈り申し上げるとともに、各事業の運営には安全第一で細心の注意を払わなければならぬことを再認識しました。

当連絡会の平成30年度の主な事業については、6月12日（火）に県危連の近藤事務局長並びに掛川市消防本部の白畠喜久雄消防長にご臨席を頂き総会を開催いたしました。

研修としましては、7月25日（水）に浜松市防火協会が主催となり、「我が家の防災とここだけの話」としまして防災講演会を実施しました。講師は、静岡県で活躍中のタレント久保ひとみ氏で、参加した会員からは、改めて防災対策の重要性を認識することができたとの声が聴かれました。

視察では、平成31年1月24日（木）富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町）の視察をしました。

当連絡会は、今後も各協会相互に連絡協調を図り、より実りある連絡会としていく所存です。

平成30年度に実施した事業についての詳細については次のとおりです。

1 総会・会議関係

（1）総 会 平成30年6月12日（火）

オークラアクトシティホテル浜松で開催され、平成29年度事業報告・収支決算、役員改選及び平成30年度事業計画案、収支予算案等について承認されました。

（2）幹事会議

次のとおり3回の幹事会により、事業の円滑な推進や地区協会の発展を目的とした情報交換等を行いました。

- 第1回幹事会 平成30年5月2日（水） 於：浜松市消防局
- 第2回幹事会 平成30年8月24日（金） 於：浜松市消防局
- 第3回幹事会 平成31年2月8日（金） 於：浜松市消防局

(3) 連絡会議 平成30年11月20日（火）



挨拶：鈴木裕司会長

オークラアクトシティホテルで連絡会議を開催、平成30年度の中間事業報告及び平成31年度の事業方針等について審議し、会議終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気の中、情報交換を行いました。

2 研修会関係



防災講演会「講師：久保ひとみ氏」

(1) 会員・幹事研修会 平成30年7月25日（火）於：アクトシティコングレスセンター

タレント 久保ひとみ氏による「我が家家の防災とここだけの話」の講演を聴講しました。



富士スピードウェイにて

(2) 会員・幹事視察研修会 平成31年1月24日（金）於：静岡県駿東郡小山町富士スピードウェイ
施設内の防災体制等を視察しました。

(3) 幹事研修会 平成30年11月20日（火）於：浜松市消防局
各地区協から規制事務に関する事例について、情報交換を実施しました。

☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



うさぎグッズ

島田・北榛原地区危険物安全協会 会長

浅見明彦

我が家にはたくさんの「うさぎグッズ」がある。玄関の置物、小物、食器、タオル…旅行などで土産物屋に寄った際も、うさぎの小物などをついつい探してしまう。

きっかけは、ずいぶん前だが我が家でうさぎを飼っていたことがある。

隣町にペットショップが開店し、そのオープニングイベントで「ハムスターとうさぎを無料で差し上げます」。ハムの方を子供にせがまれてもらいに行った。当時はそれほど「うさぎ」はブームではなく行列もチラホラだったため、ついでに頂いてきた。両方とも生まれたてで手のひらサイズだった。飼うに当たってはケージやら敷き藁やら餌やらの購入やら・・・これがショップの戦略か・・・と、なんなく納得。

ハムを「チーズ」うさぎを「ちょこ」と命名した。「ちょこ」は女の子で、あっという間にすくすく育った。うさぎは草食のせいか殆ど獣臭さがない。トイレも決められた所にする。たまに間に合わないのか正露丸みたいなのが1粒2粒コロコロしている事もあったが・・・結構「感情表現」が豊かで、声帯が無いため鳴く事は出来ないが機嫌が良いと「ぶーぶー」と喉を振るわせたり、部屋の中を駆け回って「両足をブルルン」しながらジャンプした。反対に怒った時などは「ウー」と唸りながら後ろ足を「タンタン」と鳴らした。餌が無いと食器を咥えてひっくり返す。遊んで欲しいと読んでいる新聞の上に「デン」と寝転んだりもする。鼻の頭をなぜると満足そうな顔をする。寝ている体の上に良く乗って来たりもした。夏は苦手で玄関のタイルの凧に2倍くらいの長さで伸びていた。食物連鎖の最下位に位置しているせいか、家族以外には馴れる事は無かった。宅急便の方が来た時など置物のように小さくなって固まっていたし、近所のオバサマが「かわいいわね」と手を差し延べようなら脱兎のごとくソファーの後ろに逃げ込んだ。年老いてくると色々な所が病気になって手術も何回かしたなぁ・・・10年弱で天命を全うし月に旅立っていった。最期が可哀そうだったためその次が飼えず、うさぎグッズが増えていった。



大規模地震発生や自然災害で避難所生活になった場合、環境省が「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」というのを出している。ペットをお飼いの方は是非読んでおいてほしい。ペットと避難する事が原則と書かれているが、飼い主としては非常に悩ましい問題である。

もし「ちょこ」がいる時に災害が起こり、避難所生活となったらどうしていたのか。やはり悩ましい問題である。

☆☆☆ ちょっとひとりき ☆☆☆



手作り椅子に癒される

菊川市危険物安全協会 会長

濱 崎 興 基 (広報委員会委員)

皆さんは椅子に関心はおありでしょうか？ 1日8時間デスクワークをしたとして、1ヶ月で約160時間。当然、帰宅後にも椅子に座る時間はあろうと思います。「座る」時間は人生のかなりの時間を占めているといえます。

また、椅子は最小の建築物（構造物）と表現する先生方もおられます。材質、構造体としての強度、美しいデザイン、機能性とのバランスなどはまさにその通りかと思います。

“北欧デザイン”の礎を築いた世界的建築家アルネ・ヤコブセンをはじめ、ル・コルビジェ、フランク・ロイド・ライト、マルセル・プロイヤー、チャールズ/レイ・イームズ。そして椅子や家具を専門にデザインする著名な作家としてフィン・ユールやボーエ・モーエンセンなど、世界には優れたデザインを世に送り出した建築家・家具デザイナーと個性的で美しく機能的なチェアが多数存在します。このようにプロダクトとしての素晴らしい椅子が多数存在する一方で、個体、単品単位に制作される木工作家さんの椅子も世の中にあまた存在します。

私が椅子に興味を持ち始めたのは、自宅を新築するときの内装（家具や調度品等）をどんなイメージで揃えるかというタイミングでした。夫婦で「これだ！」とイメージできない日々が続き、気分晴らしに夫婦で河口湖半あたりにでもドライブしようとなりました。

偶々、河口湖で木製椅子を中心に制作する作家さんの工房を見つけ訪問したところ、木材の樹種毎の特徴や作られた椅子の素材ごとの木目の美しい魅せ方や機能性、細工仕事の



妙についてお話を伺い、すっかり「手作りのもの・木製椅子・家具」に魅せられる こととなりました。世界的に有名なプロダクトとしての椅子はあまりに高価すぎて普段使いには躊躇します。一方で、この15年ほどの間に、世界的に非常に高い評価をされる日本のメーカーさんや作家さんが顕在しております。現在、自宅ではありません広くもない居間や廊下、各個室には導線を確保するにも腐心するほどに木製椅子が居並び、日々これを眺め、座り心地を楽しみ、樹種毎の木肌の文様や色合いに目を細め、工法や造作の精度、デザインに感じ入りながら椅子を楽しんでいます。

長泉町防火協会

当協会は、昭和46年4月に創立した長泉町危険物安全協会と昭和50年4月に創立した長泉町防火管理者協議会を昭和58年5月13日に統合し、長泉町防火協会として創立しました。平成25年には創立30周年記念事業を開催し、今年で36年を迎えることとなりました。

現在、会員数は156事業所となり、地域社会に対し防火防災の意識向上を図るとともに、各会員事業所が課せられた社会的責任を十分に理解した上で防火防災の活動に取り組んでおります。ここで、長泉町と長泉町防火協会の主な事業について説明いたします。

【長泉町の紹介】



長泉町は人口42,321人、面積26.63km²で静岡県東部にあり、北には世界文化遺産に登録された富士山を眺めることができます。南には駿河湾を見渡すことができます。緑豊かな愛鷹山から湧き出る桃沢川、町の中央を縦に流れる黄瀬川など、美しい自然に囲まれた町であります。

南東部には駿東郡清水町の市街地、及び双子都市である三島市と沼津市の両市街地を繋ぐひと続きの市街地が広がっています。

北西部には駿河平と呼ばれる高原があり、クレマチスの丘、静岡サッカーミュージアムなどの観光施設が立地するほかに、静岡がんセンターを中心としたファルマバレーと呼ばれる医療及び医用工業の先進施設が集中する地区が形成されています。また長泉町は、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの構成15市町のひとつです。長泉町のジオサイト（見どころ）を紹介します。



【つるべ落としの滝】

板状節理の発達した愛鷹山の溶岩にかかる滝で、渴水期には水がなくなるため幻の滝とも呼ばれています。周辺の遊歩道でも、同様の板状節理や溶岩の上面を渓流が穿った滑沢など、安山岩質の厚い溶岩流がつくる地形や構造を楽しむことができます。

【愛鷹山水神社】

桃沢川の源流にあたる水源地となっています。明治36年に建立され、八大龍王（龍神）を祀り、海洋渡航者や漁師などの信仰を集めています。川が境内に露出した愛鷹山の溶岩の上を流れ、周辺の林道などでは溶岩流の中にできた板状節理なども観察できます。



【鮎壺の滝】

黄瀬川の本流にかかる高さ 9 m の滝で、三島溶岩流の南西端にできており、滝の裏側には溶岩樹型も見られます。滝と富士山が絶景であることから、「富士見の滝」とも呼ばれ、県の天然記念物にも指定されています。滝つぼが藍色をしていたため、「藍壺の滝」とも呼ばれていました。

【長泉町の特産品】

長泉町の特産品には、四つの溝がある尖ったハートの形が特徴的な四つ溝柿、全国表彰もされたあしたか牛、大玉で網目もしっかりとあり、甘さが乗った緑肉の長泉メロン、山芋を品種改良してつくられた粘りと風味が強く滋養強壮に効果があるとされる大和芋などがあります。



【長泉町防火協会 各種事業について】

①定期点検記録簿確認検査

危険物を取り扱う事業所における自主保安体制の確立を図るため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しているところであり、当協会でも危険物安全週間中の事業として、危険物施設ごとに配布している定期点検記録簿の確認検査を実施しています。

②消火技術競技大会

火災による被害を最小限にするために、防火意識を高めるとともに火災発生時における通報、初期消火などの一連の活動要領の習得を目的として、訓練用消火器を使用して競技大会を開催するものです。平成30年の大会では、長泉町内12事業所17チームが出場し、消火技術の速さ、通報の正確さを競いました。



③防災講習会

総務省消防庁では、昭和62年から11月9日を「119番の日」と定め、火災・救急における119番通報の普及、啓発を図っており、当協会でもこの趣旨の下、119番通報、煙体験・消火器の知識、LPGガスの知識、地震に関する講話を内容とする講習会を開催しています。

④視察研修会

各事業所における防火管理上又は危険物安全管理上の参考とするため、最新の消防用設備等を備えた事業所や研究施設などを視察し、今後の活動に役立て、防火防災に関する意識と知識の向上を図っています。

※平成30年度視察研修

日時：平成30年11月30日（金）

場所：「防災科学技術研究所」、「筑波宇宙センター」（茨城県つくば市）

⑤春及び秋の火災予防運動街頭広報

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災発生を防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに財産の損失を防ぐことを目的として、当協会でも全国火災予防運動中の事業として、幼年消防クラブと連携して街頭広報を実施しています。

☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

富士市防火協会

《協会の紹介》

当協会は、昭和40年6月、63の事業所が強い防火思想に則り、自発的な意欲に燃えて、事業所における防火管理の向上及び普及を図り、自主的な災害防止を促進するとともに、消防行政官署と密接な連携を保ち消防行政の円滑な運営に寄与することを目的に組織され、平成27年には50周年を迎え、現在は会員数394事業所、そのうち危険物を取り扱う事業所192事業所で構成されています。



《定期総会》

令和元年度の定期総会が、令和元年5月24日（金曜日）にホテルグランド富士で開催されました。



«定例表彰»

定期総会の席上において、優良防火管理事業所、優良防火管理者、優良防火管理事務従事者、優良危険物保安功労者、優良危険物取扱者の会長表彰が執り行われました。



«防火ポスター»

火災予防運動の一つとして、防火意識の高揚を図ることを目的として、市内小中学校の児童・生徒から防火ポスターを募集しています。

防火ポスターは、小学校の部・中学校の部それぞれから市長賞を選出し、小学校の部の市長賞を秋季火災予防運動時に、中学校の部の市長賞を春季火災予防運動時に、それぞれ2,200枚印刷し、市内各所に掲出し広く火災予防のPRに活用しています。



小学校の部 市長賞



中学校の部 市長賞

《視察研修》

当協会の視察研修事業の一環として、防火安全管理及び防火意識の向上と会員相互の親睦を図ることを目的として、視察研修を実施しています。



《消防技術競技大会》

各事業所の火災の初期における消防技術の向上と士気の高揚を図ることを目的に日頃の訓練成果を競い合う大会を実施しています。



《火災予防キャンペーン》

市内のショッピングセンターにおいて、富士市をPRする大使のかぐや姫クイーンを「一日消防長」に任命し、消防行政の一端を体験していただき、また、とりカエルくんによる住宅用火災警報器取替えPR、幼年消防クラブによる火災予防PR、消防音楽隊及びカラーガード隊においてはミニコンサートを実施しています。



☆☆☆ 地区協会の広場 ☆☆☆

浜松市防災協会

《浜松市防災協会の紹介》

浜松市防災協会は、あらゆる業種の事業所が防火・防災思想の普及啓発と火災や災害等の被害の軽減及び自主防災管理体制の確立を図るため、浜松市内の防火協力4団体「浜松市危険物安全協会」、「浜松市大型店舗防火研究会」、「静岡県西遠地区病院防火管理研究会」、「浜松市社会福祉施設協議会防火管理委員会」が平成27年4月28日に合併し、設立いたしました。

《浜松市の紹介》

浜松市は、静岡県の西部に位置し、東京、大阪の2大都市のほぼ中間（約250～300km）にあります。太平洋ベルト地帯においてもその中央部に位置し、中部経済圏の中心である名古屋へ約109km、県都静岡市へ約77km、東三河の中心都市豊橋市へは約37kmの近距離にあります。

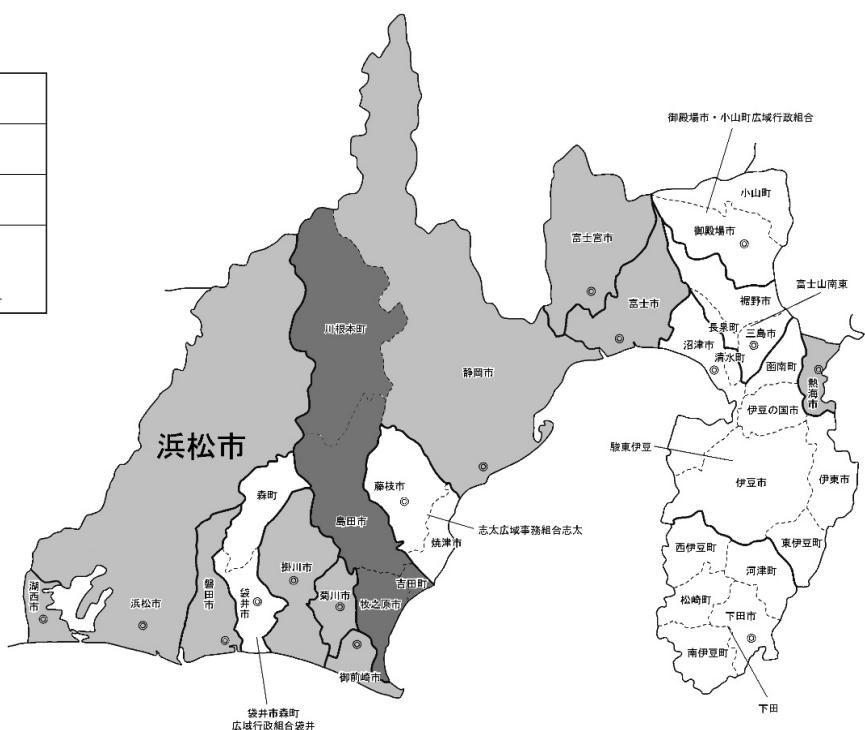
また、東海道新幹線、東海道本線、遠州鉄道（西鹿島線）、新東名高速自動車道、東名高速自動車道、国道1号及び三遠南信道路など、交通通信網も充実しており、三遠南信広域交流圏をはじめ、最近の地域間の連携は緊密化を増しており、益々の発展が期待されています。

市域は、東西約52km、南北約73km、総面積は1,558.06km²と広大で、市の南北を天竜川が縦断し遠州灘へと注いでおり、西端には浜名湖を臨み、地形は、天竜川中流域の中山間地、扇状に広がる下流域の低地、河岸段丘の三方原台地と浜名湖沿岸の丘陵地から形成されています。

平成19年に政令指定都市となり、「ものづくりのまち」としての産業ポテンシャルや、うなぎ、みかん、浜松餃子などの全国に認められる食資源、浜名湖をはじめとした観光資源、浜松城をはじめとする徳川家康公にまつわる歴史資源、平成27年にはユネスコ創造都市ネットワークに音楽分野にてアジアで初めて加入し、吹奏楽やピアノの分野で国内外をリードする音楽環境など、国内外に誇る強みや魅力があります。

面 積	
浜 松 市	1,558.06km ²
距 離	
(東 西)	(南 北)
52.144km	73.158km

- 凡 例
- 組合消防
 - 単独常備
 - 委託常備
 - ◎ 本部所在地



☆観光スポットの紹介☆

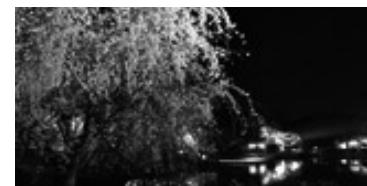
龍潭寺：井伊家の起源と繁栄を見守り続けてきた古刹

井伊家の菩提寺であった龍潭寺。2017年大河ドラマ「おんな城主 直虎」の主人公 井伊直虎が出家し、第二代住職 南渓和尚によって「次郎法師」の名を与えられ、修行した場所でもあります。江戸時代に建てられた由緒ある建物内には、貴重な文化財を多数所蔵しています。また、庭園は国指定名勝として知られ、四季折々にうつろう庭園を本堂から眺めることができます。



はままつフラワーパーク：四季折々の花が咲き乱れる憩いのスポット

世界の美しい花と緑が楽しめる植物園です。30万m²の広大な敷地に、3,000種10万本の植物が植えられている。大温室「クリスタルパレス」の季節ごとに趣向を凝らした展示も必見です。「大噴水ショー」や「フラワートレイン」も人気が高いです。



浜名湖かんざんじ温泉：自然溢れる景勝地で楽しむ温泉と食事

1958年（昭和33年）に開湯した浜名湖かんざんじ温泉。温泉宿や観光施設が集中するエリアであり、県内外から多くの観光客が訪れています。「かんざんじ」の名前は、温泉街の北側の館山（たてやま）にある、曹洞宗 秋葉山 館山寺（かんざんじ）に由来します。神経痛や筋肉痛、関節痛など痛みの改善に効能があるといわれています。



≪主な行事≫

【平成31年度定期総会】

4月に定期総会を行い、危険物の保安管理に尽力された優良事業所及び優良取扱者に会長表彰が贈られました。



【令和元年度危険物訓練見学】

危険物安全週間行事の一環として、危険物施設を持つ事業所の防災訓練を危険物関係部会の役員が見学しました。



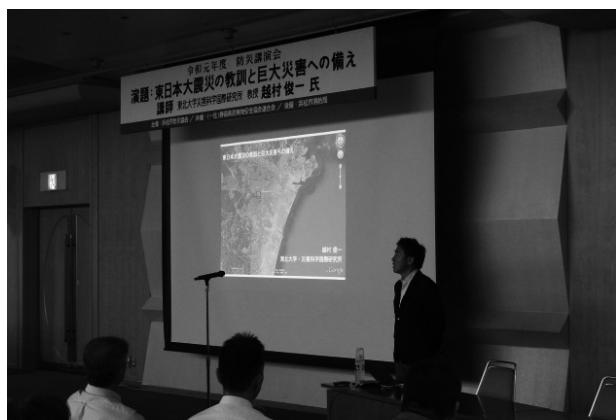
【令和元年度安全管理研修会】

防火管理研修及び危険物研修の2グループに分かれて研修会を実施しました。



【令和元年度防災講演会】

東北大学災害科学国際研究所：越村俊一教授を講師に迎え「東日本大震災の教訓と巨大災害への備え」と題して、講演会を開催しました。



【平成30年度視察研修】

駿東郡小山町の陸上自衛隊富士学校及び山梨県の富士山世界遺産センターを視察しました。



【平成30年度総合消防訓練指導会】

浜松アリーナの施設を使用し、通報・消火・避難・救護等の総合的な訓練を実施しました。



☆☆☆ ちょっとひといき ☆☆☆



成人式（創立20周年）を迎えて

湖西市危険物安全協会 会長

松 山 喜代志

私の勤務する会社は、1996年12月にトヨタ自動車（株）とパナソニック（株）の合弁企業として設立されました。今年で23年目の若い企業です。成人式（創立20周年）を迎えるにあたり3つの記念事業が計画されました。1つ目は社史の編纂と記念式典の開催。社史には会社の20年の歩みに加え職場毎の集合写真を掲載することになりました。運良く在籍していた私は個人的にも記念になる冊子となりました。2つ目の社歌は、作詞から作曲迄を全て社員による手作りで行いました。「永遠の地球（ほし）プライムアース」を唄うヴォーカルは静岡県出身の“うたら”さん。うたらは歌（うた）で笑（ら）顔にという想いが込められており、透きとおり優しくもどこか力強い歌声は、聴く人の心を癒し笑顔してくれます。3つ目のPEVEアリーナは、「従業員の福利厚生機能の充実と良き企業市民としての地域貢献」を目的に「活力充電・安全安心・環境保全」のコンセプトを元に建設されました。本ページでは安全安心の取組みについて紹介させて頂きます。

「安全安心」とは、近い将来到来すると言われている東南海地震への備えと対策強化です。万一の災害時には初動対応要員や地域住民の一時避難所としての活用が出来る様に、水・食料などの備蓄に加え、電気や水などのインフラ停止時への備えを充実しました。停電時には工場にある発電機やアリーナに設置した太陽光パネルに加え、ハイブリッド車からも電気を供給できる様に3重のバックアップシステムと致しました。水洗トイレが使える様にアリーナの屋根に降った雨水を貯め、トイレ排水を処理する浄化槽はハイブリッド車の100Vコンセントからの電源でも機能する様に致しました。

PEVEアリーナは、弊社の主力商品でもあるバッテリーパックをモチーフにデザインし洗練された外観と使いやすさと機能性を併せもった体育館です（下図参照）。私も毎週トレーニングジム等で汗を流しています。近くにお越しの際にはお寄り頂ければ幸いです。



図1) バッテリーパック



図2) アリーナの外観パース図

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

1 消費税率引上げに伴う価格改定

令和元年10月1日、消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられました。これに伴い、当連合会で取り扱うテキスト等の価格を改定したので、お知らせします。

(1) 価格の改定

品 名	定 価	
	新 (10/1~)	旧 (~9/30)
保安講習テキスト	一般編 給油取扱所編 コンビナート編	1,800 1,800 1,800
	法令編 実務編	1,400 1,400
	乙種第4類 甲種+乙種1~6類	1,700 1,500
危険物取扱必携		1,340 1,340
危険物取扱者試験例題集		1,660 1,470
視聴覚教材(DVD)	8,800	8,640

(2) 価格据置

予備講習の受講料及び定期点検記録簿の頒布価格は、当面、据置きとします。

なお、これらは平成26年4月に消費税が5%から8%に引き上げられた際にも価格が据置きとされたことから、価格改定について、今後、検討することとします。

2 危険物取扱者に係る講習

(1) 危険物取扱者試験の対策講座

当連合会では、危険物取扱者試験の試験対策講座として「予備講習」を開催しています。危険物取扱者乙種第4類を受験する方は、ぜひご利用ください。→ 52ページ

また、試験対策のテキストも販売していますので、当連合会または最寄りの地区協会にお問い合わせください。

(2) 危険物取扱者保安講習

消防法において、危険物取扱者は、原則として3年に1度、危険物保安講習を受講することとされています。

当連合会は、静岡県知事から委託を受けて、この保安講習を実施しています。昨年度は、講習を延べ58回開催し、8,550名からの受講申請をいただきました。今年度は54ページに掲げる日程で実施しています。該当の方は、どうぞご受講ください。

乙種第4類を受験される方へ！
本講習を受けると合格率が違います！

危険物取扱者試験 予 備 講 習

1. 一回の受講料で、合格まで何度も再受講（有効期間1年）できます。
2. わからなかった例題集の問題は、メール（FAX）で個人に回答します。
3. 試験直前に、追加講習を実施します。

●受講案内（受講申請書）の入手方法（以下のどちらか）

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」、および消防署（一部）で配付しています。
- (2) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードできます。

●受講申請書提出先

(一社) 静岡県危険物安全協会連合会へ郵送してください。

●使用テキスト（一財）全国危険物安全協会のテキスト〈3冊1セット〉を使用します。

講習前にいずれかの方法で入手し、事前に一読してください。講習会場では販売しません。

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」で購入してください。

- (2) (一社) 静岡県危険物安全協会連合会で購入してください。（送付可。送料は受講者負担。）

●受講料（学生割引50%があります。）

- | | | |
|--|------------------------|---|
| (1) 1日講習 | 一般 4,000円（当日受付は5,000円） | 学生 2,000円（当日受付は3,000円） |
| (2) 2日講習 | 一般 7,000円（当日受付は8,000円） | 学生 3,500円（当日受付は4,500円） |
| 2日講習は、講義だけでなく例題集もやります。（物理と化学の苦手な方にお勧めします。） | | |
| (3) 追加講習 | (30名／定員) 無料 | ※1日講習、2日講習を受講した方が対象です。
ポイントと計算問題を中心とした解説を行います。 |

●講習日程

申請期間	開催時期	講習の種類	講習日	会 場
4月1日 から 受講希望日 の 1週間前 (必着)	令和元年 6月期 (試験日) 6月9日	1日講習	5月8日(水)	富士市（柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」）
			5月10日(金)	磐田市（二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」）
			5月13日(月)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」）
			5月14日(火)	焼津市（三ヶ名1550「焼津文化会館」）
			5月21日(火)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
		2日講習	5月22日(水)	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
		2日講習	5月4日(土)～5月5日(日)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」）
			5月11日(土)～5月12日(日)	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
			5月25日(土)～5月26日(日)	静岡市（葵区鷹匠3-6-1「静岡県職員会館もくせい会館」）
	令和元年 11月期 (試験日) 11月2日 11月3日	追加講習	6月1日(土)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
		1日講習	10月1日(火)	富士市（柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」）
			10月2日(水)	磐田市（二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」）
			10月4日(金)	焼津市（三ヶ名1550「焼津文化会館」）
			10月7日(月)	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
			10月9日(水)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
	令和2年 2月期 (試験日) 2月23日	2日講習	10月10日(木)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」）
			10月5日(土)～10月6日(日)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			10月12日(土)～10月13日(日)	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
			10月16日(水)～10月17日(木)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
		追加講習	10月19日(土)～10月20日(日)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」）
			10月26日(土)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
		1日講習	1月15日(水)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）
			1月16日(木)	富士市（柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」）
			1月20日(月)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」）
			1月24日(金)	磐田市（二之宮東3-2「磐田市文化振興センター」）
			1月29日(水)	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
	2日講習	2日講習	1月11日(土)～1月12日(日)	沼津市（高島本町1-3「沼津労政会館」）
			1月18日(土)～1月19日(日)	浜松市（中区東伊場2-7-1「浜松労政会館」）
			1月25日(土)～1月26日(日)	静岡市（駿河区馬渕1-17-1「静岡県男女共同参画センターあざれあ」）
		追加講習	2月9日(日)	静岡市（葵区黒金町5-1「静岡労政会館」）

※日程等は都合により変更になる場合があります。

●問合せ先

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会

〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階

電話：054-252-5512 FAX：054-273-6524

(2019. 7)

危険物取扱者の義務

参考資料; (一財) 全国危険物安全協会 保安講習テキスト (H31年版)

消防法は、危険物取扱者が守るべき義務を定めています。

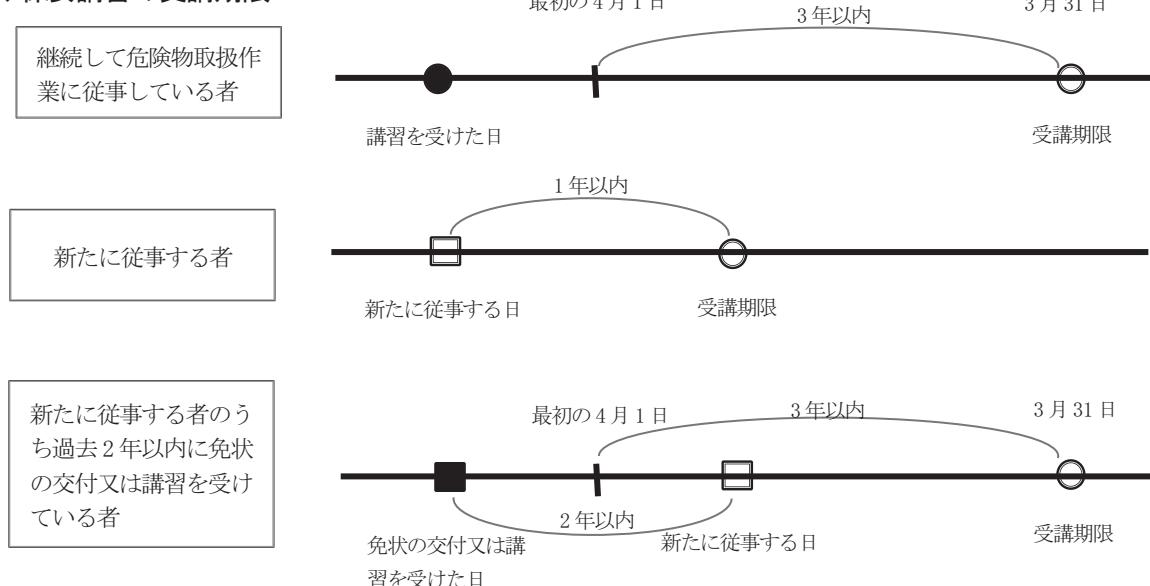
【守るべき義務】

- (1) 危険物保安講習の受講義務 (法第13条の23、危規則第58条の14)
- (2) 危険物取扱者免状の書換え義務 (危政令第34条)
- (3) 危険物の移送時における乗車義務及び危険物取扱者免状の携帯義務 (法第16条の2 第1項、第3項)

(1) 危険物保安講習の受講義務

製造所等において、危険物の取扱作業に従事している危険物取扱者は、原則として保安講習を受けた日以降における最初の4月1日から3年以内に、都道府県知事等が行う危険物の取扱作業の保安に関する講習を受けなければならない。

◆保安講習の受講期限



(2) 危険物取扱者免状の書換え義務等

免状の記載事項に変更を生じた場合には、免状の書換えを申請しなければならない。

ア 書換え → 免状を交付した、又は居住地・勤務地を管轄する都道府県知事へ申請

- ① 本籍の変更 (同一都道府県内での転籍を除く)
- ② 氏名の変更
- ③ 免状の写真を撮影した日から10年を経過した場合 (10年を超える前に申請のこと)

イ 再交付 → 免状を交付又は書換えの処理をした都道府県知事へ申請

- ① 亡失、②滅失、③汚損、④破損

(3) 乗車義務及び危険物取扱者免状の携帯義務

移動タンク貯蔵所で危険物を移送するときは、危険物取扱者の乗車及び危険物取扱者免状の携帯が義務付けられている。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

危険物取扱作業に従事されている方へ

(令和元年度 法定講習)

危険物取扱者保安講習

○各会場定員があります。定員に達した場合は当連合会のホームページに掲載します。確認の上、受講申請をしてください。

申請者が会場の定員に達した場合は、締切り前でも受付を終了します。詳しくは、受講案内をご覧ください。

◎令和2年2月期の講習は、受講者が多くなることが予想されますので、早めの受講をお願いいたします。

開催時期	申請期間	講習種別	講習日	定員(名)	会場
令和元年 7月期	5月7日(火) ↓ 5月31日(金) 締切日必着	給油取扱所	7月24日(水) 午前	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			7月26日(金) 午後	300	三島市(一一番町20-5「三島市民文化会館」)
			7月30日(火) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			7月31日(水) 午前	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)
		コンビナート	7月19日(金) 午後	90	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			7月23日(火) 午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			7月24日(水) 午後	300	浜松市(浜北区貴布祢291-1「浜松市浜北文化センター」)
			7月25日(木) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			7月26日(金) 午前	300	三島市(一一番町20-5「三島市民文化会館」)
			7月29日(月) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		一般 ¹⁾	7月30日(火) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			7月31日(水) 午後	250	御殿場市(萩原988-1「御殿場市民交流センターふじざくら」)
令和元年 9月期	7月1日(月) ↓ 7月31日(水) 締切日必着	給油取扱所	9月24日(火) 午前	200	御前崎市(佐倉3617-1「佐倉公民館」)
			9月26日(木) 午前	130	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
		一般 ¹⁾	9月10日(火) 午後	300	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			9月24日(火) 午後	200	御前崎市(佐倉3617-1「佐倉公民館」)
			9月25日(水) 午後	190	裾野市(深良435「裾野市生涯学習センター」)
			9月26日(木) 午後	130	伊東市(和田1-16-1「伊東市観光会館」)
令和元年 11月期	8月1日(木) ↓ 8月30日(金) 締切日必着	給油取扱所	11月6日(水) 午前	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月15日(金) 午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			11月18日(月) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			11月19日(火) 午前	180	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			11月26日(火) 午前	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月28日(木) 午後	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクシティ浜松コングレスセンター」)
		一般 ¹⁾	11月5日(火) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月6日(水) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			11月7日(木) 午後	300	焼津市(三ヶ名1550「焼津文化会館」)
			11月12日(火) 午前	300	磐田市(上新屋304「アミューズ豊田」)
			11月12日(火) 午後	300	磐田市(上新屋304「アミューズ豊田」)
			11月15日(金) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			11月18日(月) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
			11月19日(火) 午後	180	静岡市(清水区島崎町223「市東部勤労者福祉センター清水テルサ」)
			11月25日(月) 午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月26日(火) 午後	300	富士市(蓼原町1750「富士市文化会館「ロゼシアター」)
			11月27日(水) 午後	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクシティ浜松コングレスセンター」)
			11月28日(木) 午前	300	浜松市(中区板屋町111-1「アクシティ浜松コングレスセンター」)
令和2年 2月期	12月2日(月) ↓ 12月27日(金) 締切日必着	給油取扱所	2月3日(月) 午前	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			2月5日(水) 午前	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月18日(火) 午前	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)
		一般 ¹⁾	2月3日(月) 午後	300	掛川市(満水2000「つま恋リゾート彩の郷」)
			2月5日(水) 午後	300	沼津市(御幸町15-1「沼津市民文化センター」)
			2月6日(木) 午前	150	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			2月6日(木) 午後	150	富士市(柳島189-8「富士市産業交流展示場ふじさんめっせ」)
			2月18日(火) 午後	300	静岡市(葵区黒金町5-1「静岡労政会館」)

1) 給油取扱所(主にガソリンスタンド等)、コンビナート以外は、一般で受講してください。

●受講案内(受講申請書)の入手方法(次のいずれかの方法で入手してください)

- (1) 県下の消防局・消防本部または消防署内にある「地区協会」、および消防署(一部)で配付しています。
(2) 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会のホームページからダウンロードしてください。

●受講申請書提出先および問い合わせ先

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会へ郵送またはご持参ください。(土・日・祝を除く平日8:30~17:00)

一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会 〒420-0858
静岡市葵区伝馬町24番2 相川伝馬町ビル7階
電話 054-252-5512 FAX 054-273-6524
URL : <http://www.skiren.jp/>

静 岡 県(保安講習実施機関)
一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会(保安講習事務委託機関)

(2019.4)

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

視聴覚教材一覧

連合会で整備している視聴覚教材です。県内への貸出しは無料ですので、市民の普及啓蒙活動や従業員教育などにご活用下さい。

(製作：(一財)全国危険物安全協会)

整備年度	タイトル	媒体	時間	備考
平成30年	備えあれば憂いなし～震災に備えて危険物施設にできること～	DVD	29分	
平成29年	ノウハウ (know why) ～危険物施設における保安教育の充実～	DVD	33分	
平成28年	危険物事故とリスク ～教訓を活かすために～	DVD	29分	
平成27年	危険物施設におけるヒューマンエラー	DVD	37分	
平成26年	事故事例から学ぶ 危険物の保安対策	DVD	32分	
平成25年	危険物取扱者の地震発生時の対応 ～そのとき あなたは何をすべきか～	DVD	38分	
平成24年	危険物施設におけるヒヤリハット ～より高い安全をめざして～	DVD	37分	
平成23年	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策 ～危険物取扱者の役割～	DVD	37分	
平成22年	事例に学ぶ危険物施設の火災予防 ～事故ゼロをめざして～	DVD	29分	
平成21年	危険物施設の流出事故を防げ！ ～危険物施設 流出事故ファイル～	VHS・DVD	28分	
平成20年	地震に備えていますか!? ～事前の地震対策～	VHS・DVD	29分	
平成19年	安全はつくるもの！ ～事故防止対策の推進～	VHS・DVD	27分	
平成18年	危険物施設の自主保安～リスクは潜む～	VHS・DVD	22分	
平成18年	危険物 6つの扉～危険物の性状と消火の方法～	VHS	31分	KHK版
平成18年	給油取扱所の安全を考える～ガソリンスタンドの火災防止対策～	VHS	25分	KHK版
平成18年	危険物施設の火災を防げ!～固定泡消火設備の仕組みと使い方～	VHS	35分	KHK版
平成17年	自主保安へ たしかな一步を～自主保安確立のための新たな視点～	VHS・DVD	20分	
平成16年	事故事例に学ぶ日常点検のあり方～日常に潜む危険～	VHS	20分	
平成15年	K Y T 手法による事故防止	VHS	18分	
平成15年	危険物の漏えいによる環境汚染を防ぐために	VHS	29分	KHK版
平成14年	安全はみんなのもの ～給油取扱所の安全管理～	VHS	16分	
平成13年	安全はみんなのもの ～工事中の事故防止～	VHS	20分	
平成12年	安全はみんなのもの ～ヒューマンエラーと保安対策～	VHS	21分	
平成11年	給油取扱所の安全を守る ～危険物保安監督者の責務～	VHS	20分	
平成10年	目で見るヒヤリ・ハット ～コンビナート施設～	VHS	21分	
平成9年	地震だ！あなたはどうする ～危険物～	VHS	20分	
平成8年	給油取扱所の安全を築く	VHS	30分	
平成8年	危険物施設の腐食を防ぐ	VHS	30分	
平成8年	危険物の安全な容器と運搬	VHS	23分	
平成8年	屋外タンクの設置と安全性 (設計から完成まで)	VHS	29分	
平成7年	事故だ！その時あなたは？	VHS	20分	
平成6年	災害事例から学ぶ	VHS	20分	
平成5年	お父さんはタンクローリーの運転手	VHS	20分	
平成4年	危険物施設と静電気	VHS	21分	
平成3年	危険物施設の日常点検	VHS	20分	

注) K H K : 危険物保安技術協会

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成30年度 事業報告書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

I 繼続事業（公益事業）

I-1 危険物の保安管理に関する人材育成事業

(1) 危険物取扱者試験予備講習事業

		申請者数	【()はH29実績】		
・1日講習	延べ	20会場	424名	再受講	95名 (419名) 対前年 5名
・2日講習	延べ	10会場	323名	再受講	17名 (323名) " 0名
		合計	747名	再受講	112名 (742名) " 5名
・うち追加講習		3回	74名		
・うち学割申請者	1日講習	0名	2日講習	11名	

(2) 危険物管理等技術研修事業

①危険物管理技術研修会

日 時 平成30年11月21日（水）

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市駿河区）

講 演 講師 東京経済大学名誉教授 吉井 博明氏

演題「自ら考え、失敗事例から学ぶ危機管理」

②高圧ガス・危険物防災訓練事業

日 時 平成30年10月31日（水）

会 場 静岡市 静岡市安倍川緑地 与一ヘリポート

主 催 静岡県、静岡県一般高圧ガス地域防災協議会、（一社）静岡県LPGガス協会、（一社）静岡県危険物安全協会連合会、静岡市防災協会 等10団体

協 力 静岡市消防局、静岡県警察本部、静岡中央警察署

(3) 講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①地区協会等主催、県危険物安全協会連合会後援または共催の講演会等

・平成30年5月25日 菊川市危険物安全協会講演会

・平成30年7月25日 浜松市防災協会講演会

・平成31年1月18日 磐田市危険物安全協会講演会

②（一財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会への参加

・危険物施設安全推進講演会

日 時 平成30年6月5日

会 場 全国町村会館（東京都千代田区）

参加者 4名（地区協会事務局等）

③教育用DVDの配付

（一財）全国危険物安全協会から無償提供された教育用DVDを各地区協会に配付
DVD「備えあれば憂いなし～震災に備えて危険物施設にできること～」(29分)

I-2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

① 表彰委員会の開催

(第1回)

- ・日 時 平成30年6月11日（月）
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
県知事表彰候補者、会長表彰等の選考

(第2回)

- ・日 時 平成31年2月13日（水）
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
消防庁長官表彰、全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考

② 創立記念大会開催事業

・第48回創立記念大会

- 日 時 平成30年9月4日（火）に予定していたが、台風第21号のため中止。
表彰状授与式を平成30年11月21日（水）に実施。
- 会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市駿河区）
- 表 彰 県知事表彰・褒章 9名（6人、3事業所）
県危険物安全協会連合会会长表彰 72名

(2) 広報活動事業

① 危険物安全週間推進事業

- ・危険物安全週間 平成30年6月3日（日）～9日（土）
- ・危険物安全大会への参加
日 時 平成30年6月4日（月）
会 場 ルポール麹町（東京都千代田区）
参加者 13名（受賞者、地区協会職員、連合会職員）
- ・危険物安全週間啓発ポスター及び小冊子の配布
安全週間推進ポスター 4,620枚
危険物に関する小冊子 一般用 3,600冊
取扱者用 4,220冊

② 「静岡県防火のつどい」への参加

- ・日 時 平成30年10月20日（土）
- ・会 場 御殿場市民会館（御殿場市）

(3) 他団体事業への協力事業

- ・静岡県幼少年女性防火委員会協力費

II その他事業（収益事業）

II-1 保安管理等受託業務事業

(1) 危険物取扱者保安講習

受講申請数：8,550名（うち企業講習：延べ15回 2,021名）

申請者【（ ）はH29実績】

・ 7月期	7月～7月	13(11)回	2,203名	(1,846名)
・ 9月期	8月～9月	12(10)回	1,680名	(1,543名)
・ 11月期	10月～12月	25(27)回	3,569名	(3,509名)
・ 2月期	1月～2月	8(8)回	1,098名	(1,129名)
合 計			8,550名	(8,027名)

(2) 定期点検実施制度に係る業務受託事業

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者に対する実態調査等

・ 事業者認定等事務（認定申請受理、認定証交付）（再認定含む）	10件
・ 認定事業者軽微変更届出事務（届出受理、付随業務）	4件
・ 認定事業者廃止届出事務（届出受理、付随業務）	0件
・ 認定事業者実態調査事務（認定事業者指導員との連絡調整等）	延べ 4事業者
・ 点検済証交付事務	延べ 25事業者 2,690枚

II-2 危険物関係図書等販売事業

(1) 危険物取扱者試験テキスト等販売事業

（一財）全国危険物安全協会編集発行の受験用テキスト販売 【（ ）はH29実績】

・ 平成30年度版危険物取扱必携法令編	1,402冊	(1,265冊)
・ 平成30年度版危険物取扱必携実務編	1,404冊	(1,266冊)
・ 平成30年度版危険物取扱者試験例題集（甲、乙）	1,546冊	(1,297冊)
	計 4,352冊	(3,828冊)

(2) 定期点検簿販売事業

危険物施設の定期点検記録簿の作成・販売 【（ ）はH29実績】

・ 増刷数	900冊	(1,000冊)
・ 販売数	928冊	(1,037冊)

III 法人管理事業

(1) 会議の開催

① 総会

- ・ 日 時 平成30年6月22日（金）
- ・ 会 場 中島屋グランドホテル（静岡市）
- ・ 議 題 決議事項：平成29年度事業報告、平成29年度決算報告、理事・監事の選任
報告事項：平成29年度常任委員会、表彰委員会の報告等

② 理事会

（第1回）

- ・ 日 時 平成30年5月22日（火）
- ・ 会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- ・ 議 題 報告事項：平成29年度常任委員会、表彰委員会報告
決議事項：通常総会の開催、議案審議（平成29年度事業報告及び収支決算報告）、理事・監事の選定、顧問・参与・委員会委員の選任、創立記念大会案の承認

(第2回)

- ・日 時 平成30年6月22日（金）
- ・会 場 中島屋グランドホテル（静岡市）
- ・議 題 決議事項：会長、副会長及び常務理事の選定

(第3回)

- ・日 時 平成30年11月21日（水）
- ・会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市）
- ・議 題 報告事項：平成30年度上期の事業進捗状況報告 等

(第4回)

- ・日 時 平成31年3月20日（水）
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- ・議 題 決議事項：平成31年度事業計画及び収支予算
報告事項：平成30年度事業計画進捗状況

③ 正副会長会議

(第1回)

- ・日 時 平成30年6月11日（月）
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）

(第2回)

- ・日 時 平成30年6月22日（金）
- ・会 場 中島屋グランドホテル（静岡市）

(第3回)

- ・日 時 平成30年11月21日（水）
- ・会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ（静岡市）

(第4回)

- ・日 時 平成31年3月20日（水）
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）

④ 常任委員会

(第1回総務広報合同委員会)

- ・日 時 平成30年5月22日（火）
 - ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- 平成29年度事業報告及び決算、平成30年度広報活動計画、会報編集方針等

(第1回総務企画合同委員会)

- ・日 時 平成31年3月20日（水）
 - ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- 平成31年度事業計画及び予算、平成30年度事業進捗状況報告

⑤ 地区協会担当者会議

- ・日 時 平成30年4月27日（金）
 - ・会 場 静岡市産学交流センター（静岡市）
- 県危連の事業計画推進への協力依頼等

(2) 会議等への参加

① 全危協都道府県危連事務局長会議

- ・日 時 平成30年4月13日（金）
- ・会 場 ルポール麹町（東京都千代田区）

- ② 静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会
 - ・日 時 平成30年4月19日（木）
 - ・会 場 静岡県庁別館9階会議室
- ③ 北陸・東海ブロック県危連会長会議
 - ・日 時 平成30年8月24日（金）
 - ・会 場 三重県桑名市（会議）、いなべ市（事業所視察）
- ④ 全危協都道府県危連会長研修会
 - ・日 時 平成31年1月23日（水）
 - ・会 場 ルポール麹町（東京都千代田区）

(3) 訓練への参加

- 静岡県消防救助技術大会（陸上の部）
 - ・日時 平成30年6月5日（火）
 - ・会場 静岡県消防学校

(4) (一財) 全国危険物安全協会会費

- ・(一財) 全国危険物安全協会会費

(5) 事務局の運営

年間を通じて総務、経理処理等の業務推進

IV I～IIIにまたがる主な事業

(1) 広報活動事業

- ① ホームページ運営事業
 - ・年間を通じて、危険物の保安管理等に関する各種情報の提供
- ② 会報発行事業（会報第68号）
 - ・発行 平成30年12月
410冊（うち地区協会：323冊、その他関係者宛て等：87冊）
 - ・ウェブ版 平成31年2月アップ

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成30年度 決算額 (正味財産増減計算ベース)

平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,289	3,226	63
特定資産運用益計	3,289	3,226	63
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	3,959,000	3,942,000	17,000
受託料収益	32,424,600	30,435,120	1,989,480
図書等販売収益	6,255,592	5,699,055	556,537
事業収益計	42,639,192	40,076,175	2,563,017
受取補助金等			
受取民間助成金	628,000	1,154,000	▲ 526,000
受取補助金等計	628,000	1,154,000	▲ 526,000
雑収益			
受取利息	161	160	1
雑収益計	161	160	1
経常収益計	46,670,642	44,633,561	2,037,081
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	8,509,818	8,340,225	▲ 169,593
臨時雇賃金	714,100	733,250	▲ 19,150
退職給付費用	504,000	497,000	7,000
福利厚生費	1,403,672	1,377,978	25,694
会議費	310,171	307,846	2,325
会場費	2,370,409	2,313,305	57,104
旅費交通費	1,357,647	1,565,697	▲ 208,050
通信運搬費	697,177	652,247	44,930
消耗什器備品費	97,200	12,420	84,780
消耗品費	613,350	584,096	29,254
修繕費	0	37,800	▲ 37,800
印刷製本費	1,214,233	1,154,645	59,588
賃借料・リース料	1,748,812	1,748,812	0
保険料	21,150	20,504	646
諸謝金	1,878,000	2,053,370	▲ 175,370
支払負担金	270,219	377,960	▲ 107,741
支払助成金	70,000	70,000	0
委託費	3,041,360	3,079,820	▲ 38,460
図書購入費	13,268,088	12,570,660	697,428
保守料	20,520	0	20,520
サイト運営費	274,116	265,436	8,680
渉外費	0	10,800	▲ 10,800
雑費	199,134	231,839	▲ 32,705
事業費計	38,583,176	38,005,710	577,466

科 目	当年度	前年度	増減
管理費			
給与手当	2,289,619	2,228,076	61,543
退職給付費用	136,000	133,000	3,000
福利厚生費	382,324	372,289	10,035
研修費	17,000	17,000	0
会議費	812,965	776,408	36,557
旅費交通費	447,543	471,008	▲ 23,465
通信運搬費	69,612	79,864	▲ 10,252
消耗什器備品費	340,200	15,660	324,540
消耗品費	209,978	224,950	▲ 14,972
印刷製本費	42,564	36,428	6,136
水道光熱費	225,547	226,285	▲ 738
賃借料・リース料	905,828	862,628	43,200
保険料	9,240	9,240	0
租税公課	1,059,120	946,912	112,208
支払負担金	60,000	80,000	▲ 20,000
支払助成金	250,000	250,000	0
支払会費	376,640	376,640	0
委託費	300,780	179,280	121,500
図書購入費	9,959	10,112	▲ 153
保守料	132,840	64,800	68,040
サイト運営費	30,452	29,492	960
渉外費	20,000	60,000	▲ 40,000
雑費	91,248	96,738	▲ 5,490
管理費計	8,219,459	7,546,810	672,649
経常費用計	46,802,635	45,552,520	1,250,115
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 131,993	▲ 918,959	786,966
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 131,993	▲ 918,959	786,966
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 131,993	▲ 918,959	786,966
当期一般正味財産増減額	▲ 131,993	▲ 918,959	786,966
一般正味財産期首残高	54,671,966	55,590,925	▲ 918,959
一般正味財産期末残高	54,539,973	54,671,966	▲ 131,993
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	54,539,973	54,671,966	▲ 131,993

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

令和元年度 事業計画書

事業計画は、公益性が強い「継続事業」と収益のある「その他事業」に分類する。

I 継続事業（人材育成と普及啓発事業）

- I - 1 人材育成事業
- I - 2 普及啓発事業

II その他事業（保安講習等に関する受託と図書販売事業）

- II - 1 受託事業
- II - 2 図書販売事業

III 法人管理事業

I 継続事業（公益事業）

I - 1 危険物の保安管理に関する人材育成事業

(1) 危険物取扱者試験予備講習事業

危険物取扱者試験（乙種4類）の受験者を対象に受験対策講習を開催し、合格率を向上させることにより危険物取扱者の確保を図る。（H28～30年度の実績を参考）

- ・1日講習 年3期（17回） 407名
- ・2日講習 年3期（10回） 310名
- ・追加講習（1日）年3期（3回） 90名（無料）

(2) 危険物管理等技術研修事業

①危険物管理技術研修会

危険物取扱者、危険物施設管理者、消防職員などを対象に危険物の保安管理に関する知識、技術の習得を行う。

- ・開催時期 令和元年11月14日（木）
- ・場 所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市）
- ・講演講師 東京工業大学環境・社会理工学院 特任教授 中村 昌允氏
「最近の危険物事故から学ぶこれからの安全管理」（仮題）
- ・参 加 者 250名

②高圧ガス・危険物防災訓練事業

静岡県、高圧ガス関係団体、消防機関などと協力し、高圧ガスと危険物に関する防災訓練を行い、災害事故への対処方法の習熟を図る。

- ・開催地の地区協会と共同参加
- ・令和元年10月30日（水）掛川市

(3) 講演会等人材育成事業（地区協会、連絡会、他団体との共催・協力・参加事業）

①県危険物安全協会連合会と地区協会が連携し、地域に対応した危険物安全思想の普及啓蒙の促進を図るために、市民が広く参加できる講演会等を行う。

②（一財）全国危険物安全協会等が主催する全国レベルの講演会等の紹介や参加を要請し、危険物に係わる人材の育成を図る。

③ 視聴覚教材を危険物取扱事業所に貸出し、人材育成を図る。

I－2 危険物災害事故防止思想の普及啓発、高揚事業

(1) 表彰関連事業

危険物による災害事故の防止に不断の努力を重ね、危険物の保安推進を図り、著しい成果を収めた個人及び危険物取扱事業所に対し、国や県の表彰候補者を選考・推薦するとともに、県危険物安全協会連合会会長表彰を行う。また、表彰に合わせて記念講演も行う。

①表彰委員会の開催

(第1回)

- ・日 時 令和元年6月12日（水）
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- ・議 題 県知事表彰候補者の選考、県危険物安全協会連合会会長表彰者の決定、消防庁長官表彰、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰候補者の推薦連絡会選定

(第2回)

- ・日 時 令和2年2月上旬
- ・会 場 グランディエールブケトーカイ（静岡市）
- ・議 題 消防庁長官表彰、（一財）全国危険物安全協会理事長表彰の候補者選考
令和2年度の表彰推薦指定
消防庁長官表彰：保安功労者1
(一財) 全国危険物安全協会理事長表彰：個人または団体2、
事業所1、感謝状1

②創立記念大会開催事業

- ・開催時期 令和元年9月9日（月）
- ・場 所 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」（静岡市）
- ・記念講演 名古屋大学教授 福和 伸夫氏（名古屋大学減災連携研究センター長）
『「彼を知り己を知れば百戦殆からず」で南海トラフ地震を凌ぐ』
- ・参 加 者 350名

(2) 広報活動事業

- ①安全週間推進ポスター等の掲示・配付を行い、災害事故防止思想の普及啓発を図る。
 - ・危険物安全週間 令和元年6月2日（日）～8日（土）
 - ・安全週間推進ポスター 4,530枚
 - ・危険物に関する一般向け小冊子 3,600冊
 - ・危険物取扱者向け小冊子 4,110冊
- ②県民の防火意識の高揚及び民間防火組織の育成を図るため、「静岡県防火のつどい」に参加。
 - ・静岡県防火のつどい 令和元年10月26日（土） 燃津市

(3) 他団体事業への協力事業

- ・静岡県幼少年女性防火委員会協力費

II その他事業（収益事業）

II-1 保安管理等受託業務事業

（1）危険物取扱者保安講習

危険物取扱者に課せられる保安講習（消防法第13条の23）の事務を静岡県知事から委託を受け実施する。これにより危険物取扱者の知識、技術の向上を図る。

- ・受講者：7,700名
- ・会場：東、中、西部の各地区 計12市・44回（予定）
- ・時期：7月期、9月期、11月期、2月期
- ・出張講習：一般 概ね100人規模／回の参加が見込まれる企業等（14回程度予定）

（2）定期点検実施制度に係る業務

地下タンク及び移動タンクの定期点検を行う認定事業者の認定事務、同事業者に対する実態調査などを支援する。

- ・認定事業者：（一財）全国危険物安全協会の講習を受け認定された事業者

II-2 危険物関係図書等販売事業

危険物取扱者試験受験者及び危険物取扱事業所の利便性を高めるため、関係図書等を販売する。

（1）危険物取扱者試験テキスト販売事業

甲種及び乙種の危険物取扱者試験受験者に対して（一財）全国危険物安全協会発行のテキストを販売する。

（2）定期点検記録簿販売事業

危険物施設の定期点検の内容を容易に把握でき、かつ点検結果を記録するための記録簿を印刷し、販売する。

III 法人管理事業

（1）会議の開催

- ①総会
- ②理事会
- ③正副会長会議
- ④常任委員会（総務、企画、広報）
- ⑤地区協会担当者会議

（2）会議等への参加

- ①全危協都道府県危連会長研修会
- ②全危協都道府県危連事務局長会議
- ③北陸・東海ブロック県危連事務局長会議（石川県金沢市）
- ④静岡県危険物運搬車両事故防止等対策協議会
- ⑤地区協会周年記念式典

（3）訓練の観察

- ①静岡県消防救助技術大会
- ②東名高速道路日本坂トンネル防災訓練

(4) (一財) 全国危険物安全協会への協力

- (一財) 全国危険物安全協会会費

(5) 総務・会計事務（事務局の運営）

IV I～IIIにまたがる主な事業

(1) 広報活動事業

①ホームページ運営事業

連合会のホームページに危険物に関する各種情報（予備講習及び保安講習の受講案内、危険物関連情報、会報など）を提供する。

②会報発行事業

年1回、会報を410部作成し関係先に配付するとともに、ホームページ上に掲載し、災害事故防止思想の普及啓発を図る。

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

平成31年度（令和元年度） 収支予算書（正味財産増減計算ベース）

平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成31年度	平成30年度	増減 (③)-④)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	3,000	3,000	0
特定資産運用益計	3,000	3,000	0
受取会費			
正会員受取会費	3,200,000	3,200,000	0
賛助会員受取会費	200,000	200,000	0
受取会費計	3,400,000	3,400,000	0
事業収益			
受講料収益	3,790,000	3,700,000	90,000
受託料収益	29,205,000	28,826,000	379,000
図書等販売収益	5,550,000	5,193,000	357,000
事業収益計	38,545,000	37,719,000	826,000
受取補助金等			
受取民間助成金	774,000	809,000	▲ 35,000
受取補助金等計	774,000	809,000	▲ 35,000
雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
広告収入			
雑収益計	1,000	1,000	0
経常収益計	42,723,000	41,932,000	791,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	8,419,000	8,471,000	▲ 52,000
臨時雇賃金	800,000	800,000	0
退職給付費用	504,000	504,000	0
福利厚生費	1,389,000	1,410,000	▲ 21,000
会議費	340,000	330,000	10,000
会場費	2,410,000	2,375,000	35,000
旅費交通費	1,440,000	1,540,000	▲ 100,000
通信運搬費	745,000	695,000	50,000
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	640,000	610,000	30,000
印刷製本費	1,343,000	1,340,000	3,000
賃借料・リース料	1,766,000	1,748,000	18,000
保険料	25,000	25,000	0
諸謝金	2,099,000	2,034,000	65,000
支払負担金	400,000	400,000	0
支払助成金	70,000	70,000	0
委託費	3,109,000	3,085,000	24,000
図書購入費	12,523,000	12,330,000	193,000
サイト運営費	280,000	280,000	0
保守料	0	0	0
雑費	270,000	270,000	0
事業費計	38,572,000	38,317,000	255,000

科 目	平成31年度	平成30年度	増減 (31) - (30)
管理費			
給与手当	2,305,000	2,307,000	▲ 2,000
退職給付費用	136,000	136,000	0
福利厚生費	380,000	392,000	▲ 12,000
研修費	34,000	30,000	4,000
会議費	850,000	800,000	50,000
旅費交通費	500,000	500,000	0
通信運搬費	90,000	100,000	▲ 10,000
消耗品費	250,000	250,000	0
印刷製本費	60,000	50,000	10,000
水道光熱費	253,000	250,000	3,000
賃借料・リース料	1,130,000	865,000	265,000
保険料	10,000	10,000	0
諸謝金	0	0	
租税公課	1,150,000	1,200,000	▲ 50,000
支払負担金	80,000	80,000	0
支払助成金	250,000	250,000	0
支払会費	377,000	377,000	0
委託費	180,000	180,000	0
図書購入費	10,000	15,000	▲ 5,000
修繕費	50,000	50,000	
保守料	65,000	65,000	0
サイト運営費	35,000	35,000	0
雑費	150,000	150,000	0
管理費計	8,345,000	8,092,000	253,000
経常費用計	46,917,000	46,409,000	508,000
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 4,194,000	▲ 4,477,000	283,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 4,194,000	▲ 4,477,000	283,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 4,194,000	▲ 4,477,000	283,000
当期一般正味財産増減額	▲ 4,194,000	▲ 4,477,000	283,000
一般正味財産期首残高	50,193,945	54,670,945	▲ 4,477,000
一般正味財産期末残高	45,999,945	50,193,945	▲ 4,194,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
III 正味財産期末残高	45,999,945	50,193,945	▲ 4,194,000

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

令和元年度（一社）静岡県危険物安全協会連合会役員・地区協会長名簿

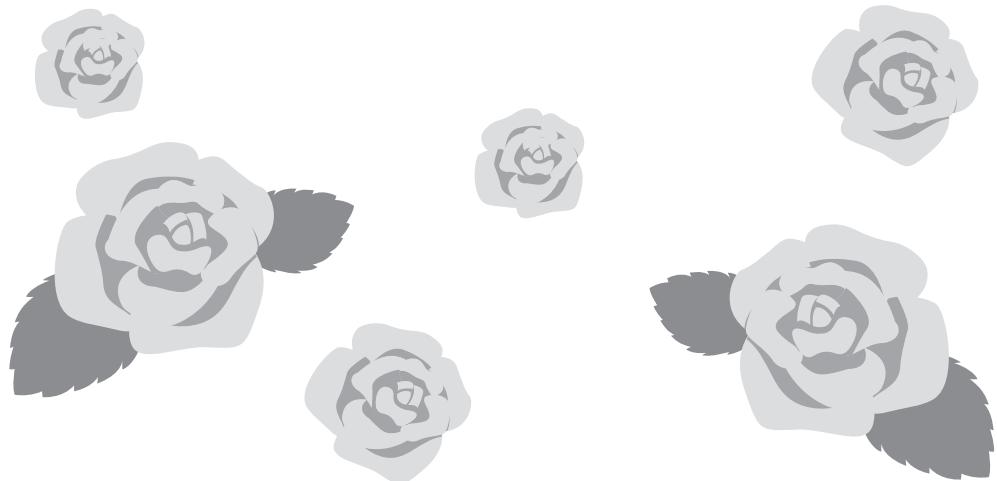
令和元年7月1日現在

	氏 名	所 属 役 職 名
顧 問	金嶋 千明	静岡県危機管理監兼危機管理部長
顧 問	村田 吉伸	静岡県消防長会長
顧 問	山梨 透	前連合会長
参 与	細沢 光晴	静岡県危機管理部消防保安課長

役 職 名	氏 名	所 属 役 職 名
会 長（理事）	中島 博康	沼津市防火協会長
副会長（理事）	鈴木 裕司	浜松市防災協会長
副会長（理事）	相川 賀秀	静岡市防災協会副会長
常務理事	小林比登志	静岡県危険物安全協会連合会事務局長
理 事	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会長
理 事	渡辺 智明	富士市防火協会長
理 事	本目 武彦	牧之原市相良地区危険物安全協会長
監 事	佐藤 潔	富士市防火協会副会長
監 事	望月 久司	静岡市防災協会理事

役 職 名	氏 名	所 属 役 職 名
地区協会長	松本 大明	下田地区危険物安全協会長
同	稲葉 智之	東伊豆町危険物安全協会長
同	井原 宏政	伊東市危険物安全協会長
同	前田 久憲	熱海市防火協会長
同	松本 昭二	田方防火協会長
同	中島 博康	沼津市防火協会長
同	鈴木 靖	清水町防火協会長
同	山本 良一	三島市防火協会長

役職名	氏名	所属役職名
地区協会長	影山 正樹	長泉町防火協会長
同	堀田 正昭	裾野市防火協会長
同	那須野孝之	御殿場市小山町防火安全協会長
同	渡辺 智明	富士市防火協会長
同	御宿 冬樹	富士宮市防火安全協会長
同	糠谷 徳昭	静岡市防災協会長
同	土屋 仁	志太危険物安全協会長
同	浅見 明彦	島田・北榛原地区危険物安全協会長
同	須藤 裕	吉田榛原危険物安全協会長
同	本目 武彦	牧之原市相良地区危険物安全協会長
同	野川 修身	御前崎市危険物安全協会長
同	濱崎 興基	菊川市危険物安全協会長
同	龍光 純男	掛川市危険物安全協会長
同	平川 和之	袋井保安管理協会長
同	鈴木 厚	磐田市危険物安全協会長
同	鈴木 裕司	浜松市防災協会長
同	松山喜代志	湖西市危険物安全協会長



☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

贊助会員名簿

(令和元年7月1日現在)

会員事業所名	住 所
静岡県経済農業協同組合連合会	静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
JXTGエネルギー株式会社 清水油槽所	静岡市清水区袖師町1900番地
静岡県石油業協同組合	静岡市駿河区緑ヶ丘町1番3号
一般社団法人静岡県LPGガス協会	静岡市葵区本通6丁目1番10号

令和元年度委員会委員名簿

(令和元年7月1日現在)

1 常任委員会

(1) 総務委員会 (委員長：鈴木裕司副会長)

9名

鈴木 裕司 (浜松市)	御宿 冬樹 (富士宮市)
松本 大明 (下田地区)	須藤 裕 (吉田榛原)
井原 宏政 (伊東市)	龍光 純男 (掛川市)
赤城 博由 (三島市)	永田 清也 (磐田市)
影山 正樹 (長泉町)	

(2) 企画委員会 (委員長：相川賀秀副会長)

9名

相川 賀秀 (静岡市)	栗山総一郎 (牧之原市相良地区)
稲葉 智之 (東伊豆町)	野川 修身 (御前崎市)
山田 晃弘 (熱海市)	龍光 純男 (掛川市)
鈴木 靖 (清水町)	平川 和之 (袋井)
那須野孝之 (御殿場市小山町)	

(3) 広報委員会 (委員長：相川賀秀副会長)

8名

相川 賀秀 (静岡市)	若尾 秀元 (島田・北榛原地区)
松本 昭二 (田方)	濱崎 興基 (菊川市)
堀田 正昭 (裾野市)	鈴木 芳明 (磐田市)
渡辺 智明 (富士市)	次廣 幸司 (湖西市)

2 表彰委員会 (委員長：中島博康会長)

7名

中島 博康 (会長)	赤城 博由 (東部地区・三島市)
鈴木 裕司 (副会長)	巻田 達央 (中部地区・志太)
相川 賀秀 (副会長)	濱崎 興基 (西部地区・菊川市)
	小林比登志 (事務局長)

☆☆☆ 県危連からのお知らせ ☆☆☆

(一社)静岡県危険物安全協会連合会地区協会事務局住所

(令和元年7月1日)

地区協会名	郵便番号	住所	電話番号	会員数 元.8.1
東部	下田地区危険物安全協会	415-0026 下田市6丁目1番地14号 下田消防本部内	0558-22-1849	82
	東伊豆町危険物安全協会	414-0013 伊東市桜木町1丁目1番3号 駿東伊豆消防本部第三方面本部内	0557-38-0197	30
	伊東市危険物安全協会	414-0013 伊東市桜木町1丁目1番3号 駿東伊豆消防本部第三方面本部内	0557-38-0197	108
	熱海市防火協会	413-0015 熱海市中央町1番1号 熱海市消防本部内	0557-86-6622	96
	田方防火協会	410-2318 伊豆の国市白山堂327番地の1 駿東伊豆消防本部第二方面本部内	0558-76-5591	138
	沼津市防火協会	411-0903 駿東郡清水町堂庭212番地の1 駿東伊豆消防本部第一方面本部内	055-991-5119	203
	清水町防火協会	411-0903 駿東郡清水町堂庭212番地の1 駿東伊豆消防本部第一方面本部内	055-991-5119	36
	三島市防火協会	411-0837 三島市南田町4番40号 富士山南東消防本部内	055-972-5802	91
	長泉町防火協会	411-0942 駿東郡長泉町中土狩910番地の1 富士山南東消防本部長泉消防署内	055-986-1199	46
	裾野市防火協会	410-1117 裾野市石脇515番地 富士山南東消防本部裾野消防署内	055-992-3211	73
中部	御殿場市小山町防火安全協会	412-0026 御殿場市東田中1丁目19番1号 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部内	0550-83-0119	160
	富士市防火協会	417-8601 富士市永田町1丁目100番地 富士市消防本部内	0545-55-2860	191
	富士宮市防火安全協会	418-8601 富士宮市弓沢町150番地 富士宮市消防本部内	0544-22-1199	153
	静岡市防災協会	422-8074 静岡市駿河区南八幡町10番30号 静岡市消防局消防部内	054-281-5500	272
	志太危険物安全協会	425-0041 焼津市石津728番地の2 志太広域事務組合志太消防本部内	054-623-0119	259
西部	島田・北榛原地区危険物安全協会	427-0048 島田市旗指513番地の1 静岡市消防局島田消防署内	0547-37-0171	145
	吉田榛原危険物安全協会	421-0301 榛原郡吉田町住吉1386番地の5 静岡市消防局吉田消防署内	0548-32-7944	111
	牧之原市相良地区危険物安全協会	421-0523 牧之原市波津191番地1 静岡市消防局牧之原消防署内	0548-53-0119	99
	御前崎市危険物安全協会	437-1612 御前崎市池新田5151番地の1 御前崎市消防本部内	0537-85-2657	79
	菊川市危険物安全協会	439-0022 菊川市東横地385 菊川市消防本部内	0537-35-3284	106
西	掛川市危険物安全協会	436-0079 掛川市掛川1102番地の2 掛川市消防本部内	0537-21-6103	204
	袋井保安管理協会	437-0064 袋井市川井996番地の2 袋井消防本部内	0538-44-5115	165
	磐田市危険物安全協会	437-1292 磐田市福田400番地 磐田市消防本部内	0538-59-1718	184
	浜松市防災協会	430-0905 浜松市中区下池川町19番1号 浜松市消防局内	053-476-1476	558
	湖西市危険物安全協会	431-0442 湖西市古見1076番地 湖西市消防本部内	053-574-0212	68
合 計				3,657

◆◆◆◆ 事務局から ◆◆◆◆

こんにちは。総務経理を担当しています戸本です。
会報の発行時期は『秋』。秋と云えば・・・そう!
食欲の秋です。
山の幸、海の幸、滋味豊かな味わい。その誘惑に
勝てるはずありません。
年々白旗の数が増え、その白旗の数に比例し私の
重さも増えています。 一戸本一



主に講習全般を担当しています。
この団体にお世話になり、は
や7年が経ちました。
ここ数年、日本各地で風水害
が増加している中、保安講習、
予備講習ともに計画通り開催
できているのは、私の晴れ女
威力のおかげ??と勝手に自己満足している私ですが、こ
れからも引き続き頑張ります
ので、よろしくお願ひいたします。
一大川井一

編集後記に代えて

今年4月、事務局長を拝命しました。右も左も、上も下も判らぬままではありましたが、会長はじめ役員の方々、地区協会の皆様はもとより、事務局の両「トモ」ちゃんの助けをいただきながら、この半年、連合会の事業を進めてきました。ありがとうございました。また、この会報を発行するにあたり、寄稿をいただきました皆様にはこの場を借りて心より感謝申し上げます。引き続き、連合会の事業・運営にご支援いただきますようお願い申し上げます。

一小林一

「会報」第69号

令和元年10月25日 発行

○発 行 一般社団法人静岡県危険物安全協会連合会
〒420-0858 静岡市葵区伝馬町24番2
相川伝馬町ビル7階
電 話 054-252-5512
FAX 054-273-6524
E-Mail : shizu-kenkiren@muse.ocn.ne.jp
<http://www.skiren.jp>

○発行所 池田屋印刷株式会社
〒422-8058 静岡市駿河区中原746番の1

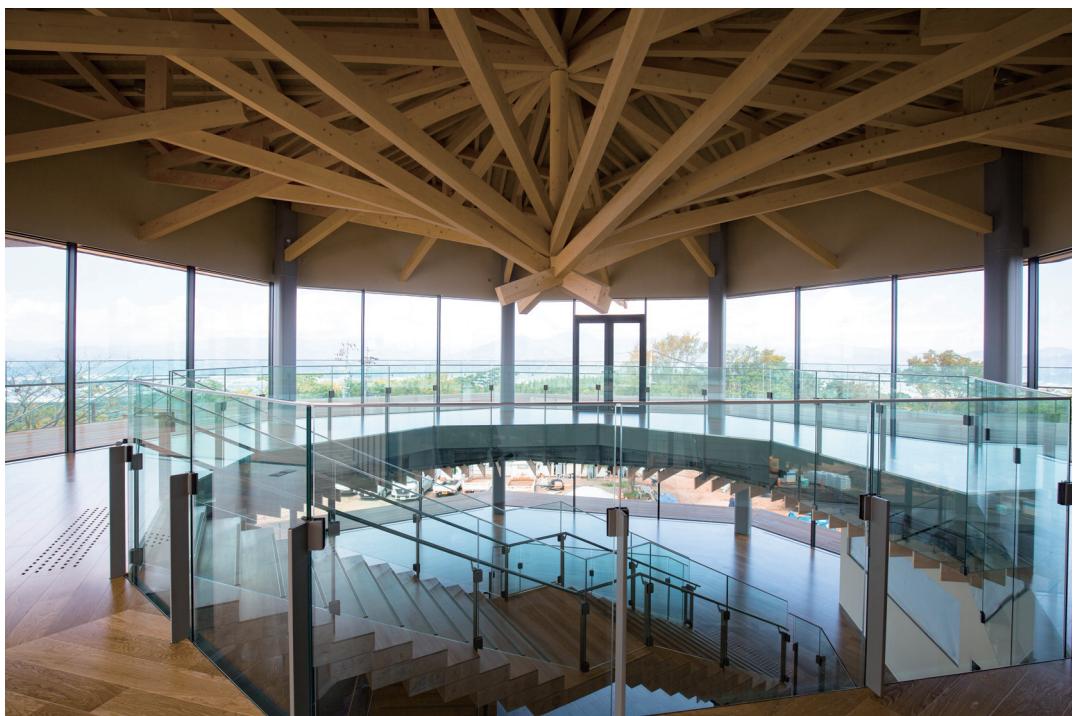
無事故への

清水希容
(ミキハウス所属)
選手

隙も無く
構え一分の



危険物
災害を
なくそう



写真提供；静岡県文化・観光部観光政策課

